

平成27年度

—地球環境を守る大阪府民のローカルアジェンダ21—

# 豊かな環境づくり大阪行動計画

平成27年6月

豊かな環境づくり大阪府民会議

はじめに  
～ 計画の背景と構成 ～

1992年（平成4年）6月に、ブラジルのリオ・デ・ジャネイロで「環境と開発に関する国連会議（地球サミット）」が開催され、人類が21世紀に向けて持続可能な発展をめざす行動計画である「アジェンダ21」が採択されました。その中では、各地方自治体において、当該地域住民が主体の地球環境保全に向けた行動計画である「ローカルアジェンダ21」の策定が求められています。

大阪府では「人のこころがかよいあう豊かな環境の保全と創造」をめざして、平成6年3月に「大阪府環境基本条例」を制定するとともに、同年11月に「豊かな環境づくり大阪府民会議」を発足いたしました。

府民会議では、平成7年6月に「地球環境保全行動指針—身近な環境 愛する心と行動が地球環境を守る」を策定するとともに、平成8年6月には、実践活動を具体的に推進するため、「豊かな環境づくり大阪行動計画—地球環境を守る大阪府民のローカルアジェンダ21—」を策定しました。この「行動計画」では、府民会議構成団体の具体的な実践活動を体系化するとともに、情報交流や活動を奨励・支援する事業を盛り込み、年度毎の計画の点検・見直しを行っています。

行動計画においては、「低炭素社会への転換」、「循環型社会の構築」、「自然と調和したまちづくり」の3つを共通テーマに掲げて、豊かな環境づくりを進めてまいります。

また、共通テーマに基づき府民会議が主体となって取り組む重点行動のテーマに「省エネ型ライフスタイルへの転換に向けた取組みの推進」を掲げ、様々な取組みを通じて、家庭や学校、職場における省エネルギーに向けた取組みの推進に努めてまいります。平成27年度も引き続き、大阪府内の大学において、積極的な創意工夫により行われている省エネ、省資源又は自然環境保全の取組みを取りまとめて紹介する「発掘！おおさかエコ事典」事業をはじめとした各種事業に取組み、環境活動の普及啓発につなげてまいります。

さらに、府民会議の各構成団体においても、3つの共通テーマに沿って、新たに3項目を追加した33の重点行動の中から各構成団体が自主的に選択した取組みを実施してまいります。

# 目 次

## 【本 編】

### 第1章 基本理念・目標

1 平成27年度の府民会議の活動方針について	1
------------------------	---

### 第2章 実践活動

1 平成27年度の府民会議主体の実践活動	3
2 平成26年度の府民会議主体の活動の報告	8
3 府民会議構成団体の活動	18

## 【資料編】

地球環境保全行動指針	43
大阪21世紀の新環境総合計画（概要）	53
大阪府及び市町村の環境保全に係る取組状況	55
豊かな環境づくり大阪府民会議規約	69
豊かな環境づくり大阪府民会議委員名簿	70
豊かな環境づくり大阪府民会議構成団体の連絡先	72
豊かな環境づくり大阪府民会議の活動経過	74
かんきょう交流Roomのご案内	80

# 【本編】



# 第1章 基本理念・目標

## 1 平成27年度の府民会議の活動方針について

都市・生活型公害や地球環境問題など、社会経済システムやライフスタイルに起因する今日の環境問題を解決するためには、府民、事業者、行政がそれぞれの立場に応じて豊かな環境の保全と創造に資する自主的な活動に主体的に取り組むことが重要となっています。

このため、豊かな環境づくり大阪府民会議では、年度ごとに行動計画を策定して、豊かな環境づくりに向けた行動を方向づけるとともに、①調整・連携する、②意見交換する、③創造する、といった「3つのC」（※下記参照）の役割を担うことにより、各主体の自覚による豊かな環境づくりに向けた行動が定着した社会の実現を目指しています。

※「3つのC」とは

C o o r d i n a t e      調整・連携する

C o m m u n i c a t e      意見交換する

C r e a t e                  創造する

また、豊かな環境づくり大阪府民会議では、環境問題などの解決に向けて、構成団体が共通認識のもとに、効果的に取組を進めていくため、特に取り組む課題として“共通テーマ”を掲げ、その共通テーマの実現に向けた具体的な行動として、府民会議構成団体が協働して取り組む“重点行動”を設定しています。

“共通テーマ”は、基本理念に基づいて、①環境をめぐる社会的状況から行動を起こしていく必要性、緊急性が認められるもの、②行動の輪を府民、事業者に広げていくことが求められるもの、③府民会議の構成団体が共通認識のもとに具体的な行動を独自におこしていくことが可能なもの、という3つの観点から設定しています。

そして、共通テーマの実現に向けた具体的な取組みとして、“重点行動”（33項目）を設定し、府民会議構成団体が率先して取り組むとともに、広く府民に対して啓発普及を図っています。

また、府民会議が主体となって取り組んだ場合に効果が大きいと思われるものに焦点をあて、「府民会議が主体となって取り組む重点行動」として関連する事業を展開しています。

# 豊かな環境づくり大阪行動宣言

—地球環境保全行動指針に基づき、豊かな環境づくりに向けて行動を起こすことを宣言します。—

身近な環境を歩いて、見て、感じ、私たちの環境がどのようであればよいのかを考え、自らの日々の活動との関わりを見つめて、行動目標を定めます。

豊かな環境づくりに向けた行動目標の実現を目指し、具体的な実践活動に取り組みとともに、行動の輪を府民、事業者に広がっていきます。

行動した結果を点検するとともに、情報交流や環境学習などを通じて、豊かな環境づくりに向けた行動がより創意工夫に富んだものに改善されるよう努めます。

## 基本理念

### 環境に配慮した暮らし・事業活動

大阪における高度な経済活動・都市活動は、地域の環境はもとより、地球環境に対して重大な影響を与えています。私たちの日常生活様式や事業活動が、環境に影響を与えていることを十分認識し、資源・エネルギーの消費を抑制するとともに、循環的な利用の徹底等によって、環境への負荷を低減するため、行動します。

### 自然と共生する社会づくり

自然は、生態系の保全、都市の気候緩和、憩い・やすらぎの場の提供など、様々な恵みを私たちに与えてくれています。自然の一員である私たちは、自らの命・生活・心のよりどころである自然を地球的な視野にたつて守り育て、自然と人が共生する社会づくりに向けて、行動します。

### ゆとりと潤いのある美しいまちづくり

大阪では、新たな交流の時代を迎えて、生活環境の質を高め、世界都市にふさわしい魅力と個性、風格を備えたまちづくりが求められています。豊かで潤いのある緑や水辺の空間を確保し、美しい景観を創造するとともに、歴史的・文化的遺産が保全・活用された大阪らしい文化の香りあふれるまちを形成するため、行動します。

## 平成27年度 共通テーマ

### 低炭素社会への転換

化石エネルギー依存から脱却し、地球温暖化の主因である二酸化炭素の排出抑制を徹底する“低炭素社会”への転換を図るため、ビジネススタイルやライフスタイルの変革に繋がる取組みを進めていきます。

### 循環型社会の構築

廃棄物の発生抑制や資源の循環的な利用等により、天然資源の消費を抑制し、環境への負荷をできる限り低減するため、一人ひとりのライフスタイルや社会経済活動の転換に向けた取組みを進めていきます。

### 自然と調和したまちづくり

都市化が進んだ大阪において、各主体の協働のもと、身近な自然環境を保全・再生し、豊かな水辺環境やみどりなどの空間を確保することによって、生物の多様性が保たれ、ヒートアイランド現象が緩和される、自然と調和した地域づくりに向けた取組みを進めていきます。

## 府民会議構成団体が取り組む33の重点行動

### I グリーン購入の推進

- 1 エコマーク商品や大阪府認定リサイクル製品など環境にやさしい商品優先的に購入する。
- 2 トレイ容器を使用しない商品や詰め替え商品、はかり売り商品などを選ぶ。
- 3 買い物にはマイバックを持参し、レジ袋を受け取らない。
- 4 職場などで使用する事務用品等のグリーン購入を徹底する。
- 5 環境にやさしい商品の開発、販売や環境ラベリングの表示を促進する。
- 6 輸送に伴う環境負荷の軽減等に寄与する地産地消の推進に取組む。(例. 府内産農林水産物をはじめとした大阪産(もん)の購入)

### II ごみ減量化・リサイクルの推進

- 7 簡易包装の徹底やフリーマーケット、リサイクルショップなどの利用により、3Rを推進する。
- 8 分別を徹底し、集団回収や店頭回収、市町村の分別収集に協力する。
- 9 使用済み家電の適正なリサイクルに取り組む。
- 10 職場での紙の使用量削減やリサイクルに取り組む。
- 11 イベントの実施にあたってはごみの排出を抑制し、ごみの持ち帰り、分別等を徹底する。

### III 家庭や学校・職場での省エネ・創エネの推進

- 1 2 家庭や学校・職場での照明やOA機器等のこまめなスイッチオフを徹底する。
- 1 3 使用していない電気製品は主電源を切り、待機電力の消費量を減らす。
- 1 4 水の大切さを認識し節水を徹底する。
- 1 5 冷暖房の適正な温度設定を徹底する。
- 1 6 家電製品や給湯器等の買い替え時には省エネ性能の高い製品を選択する。
- 1 7 建物への太陽光発電等の再エネ設備の導入や、断熱材や複層ガラス等による高断熱化を進める。
- 1 8 電力需要ピーク時の電力消費を抑制するよう工夫する。

#### 【実施方法】

- ① 府民会議各構成団体は重点行動メニューの中から実施する行動を1つないし複数選択し、それに基づく取組みを決め、下部組織にも取組みを呼びかけます。
- ② 後日、府民会議全体での実施状況を把握します。

### IV 自動車使用の見直し・エコドライブの推進

- 1 9 公共交通機関や自転車・徒歩を利用し、不要不急の自動車使用を自粛する。
- 2 0 イベントの実施にあたっては、公共交通機関を優先した来場経路の確保に努める。
- 2 1 ふんわりアクセル発進、減速時の早めのアクセルオフ、アイドリングストップ等を徹底する。
- 2 2 タイヤの空気圧チェックなど、車の整備・点検を徹底する。
- 2 3 車の買い替え時には電気自動車やハイブリッド自動車等の環境に配慮した車を購入する。

### V 自然環境の保全とふれあいの推進

- 2 4 身近な自然を見つめなおして、自然の大切さを考える。
- 2 5 野鳥や植物などの観察会等を通じ、自然とふれあう機会を増やす。
- 2 6 森林や里山などの自然保全活動に取り組む。
- 2 7 河川や海岸の美化・清掃活動などへ積極的に参加する。
- 2 8 自然の中で行う行事や活動では不必要な草木の採取や自然を破壊しないことを徹底する。
- 2 9 農林漁業体験等を通じ、いのちを育む農空間や海の重要性を考える。

### VI 緑化の推進

- 3 0 花や草木の栽培、生垣の設置など身近な場所での緑化に取り組む。
- 3 1 地域の緑化や植樹活動等に積極的に参加する。
- 3 2 建物・工場などの敷地内や屋上、壁面の緑化に取り組む。
- 3 3 地域の在来種を活用した緑化に取り組む。

## 府民会議が主体となって取り組む重点行動

「省エネ型ライフスタイルへの転換に向けた取組みの推進」  
※家庭や学校、職場において省エネに向けた取組みを推進します。

平成27年度 省エネに向けた府民会議主体の実践活動  
・「発掘！おおさかエコ事典(大学編)」  
・「環境壁紙コレクション」  
・「環境にやさしい買い物キャンペーン」  
・各種省エネ関連キャンペーンへの参加 等  
⇒ 3頁～6頁参照

平成27年度 構成団体の活動  
⇒ 16頁～41頁参照

平成27年度 構成団体の活動目標 (URL)  
<http://www.pref.osaka.lg.jp/chikyukankyo/room/keikaku.html> に掲載  
検索キーワード「かんきょう交流ルーム」で検索し、「府民会議の取組み」→「豊かな環境づくり大阪計画」→「構成団体の平成26年度の活動実績及び平成27年度の活動目標」を参照

## 第2章 実践活動

### 1 平成27年度の府民会議主体の実践活動

大阪府域においては、家庭やオフィス系職場における二酸化炭素の排出量が大幅に増加していることから、府民会議では、二酸化炭素の排出抑制を徹底する低炭素社会への転換に向けて、家庭や学校・職場において、ビジネススタイルやライフスタイルの変革につながるエコ・アクションの実践を促進する取組みを行っていきます。

(参照) 府民会議のホームページ“かんきょう交流Room”

<http://www.pref.osaka.lg.jp/chikyukankyo/room/index.html>

#### (1) 府民会議が実施する事業

##### ア 「発掘！おおさかエコ事典（大学編）」事業の実施

趣旨	大阪府内において、積極的な創意工夫により行われている省エネ、省資源又は自然環境保全の取組みを募集し、その取組みを取りまとめ『おおさかエコ事典レポート』として府民会議ホームページで広く府民に紹介し、取組みを広めていきます。 大学編として、大阪府内の「大学」におけるゼミ又はサークルの取組みを対象とし、学生の環境活動を発信して、多くの同世代の若者への環境活動につなげていきます。
期間	募集時期：随時 ホームページ掲載：応募があり次第随時
内容等	・大阪府内において、積極的な創意工夫により行われている省エネ、省資源又は自然環境保全の取組みを募集します。 ・応募のあった取組みを取りまとめ『おおさかエコ事典レポート』として府民会議ホームページで広く府民に紹介します。 (参照) <a href="http://www.pref.osaka.lg.jp/chikyukankyo/room/ecojiten-univ.html">http://www.pref.osaka.lg.jp/chikyukankyo/room/ecojiten-univ.html</a> ・応募団体をはじめとした学生団体と府民会議構成団体やその傘下団体等との多彩な協働活動の創出を実現するため、まずは学生団体同士が交流する機会を設けます。

##### イ 「環境壁紙コレクション」事業の実施

趣旨	環境をテーマにしたパソコン・ディスプレイの壁紙デザインを募集し、応募作品を府民会議ホームページに掲載して、好みのデザインの作品を誰もが気軽にダウンロードできるようにすることにより、環境に関する啓発を行います。
期間	募集：平成27年7月～9月、HP掲載：平成27年9月～（予定）、 表彰：平成28年3月（予定）
内容等	・構成団体の会員をはじめ広く一般の府民等からパソコンの壁紙作品を募集します。 ・応募作品を府民会議ホームページに掲載し、「学生部門」「社会人部門」を設け、それぞれに優れたデザインの作品を府民会議で数点選び、表彰します。 (参照) <a href="http://www.pref.osaka.lg.jp/chikyukankyo/room/room_collection.html">http://www.pref.osaka.lg.jp/chikyukankyo/room/room_collection.html</a>

#### ウ 「おおさか環境賞」の実施

趣旨	自主的かつ積極的に、他の模範となる環境の保全又は創造に資する活動に取り組んでいる個人、団体、事業者に対し、その活動を賞し奨励することを通じて、豊かな環境づくりに向けた行動の輪を広げることを目的として実施します。
時期	推薦受付：平成27年4月～5月、選考：平成27年7月～8月、表彰式：平成27年9月（予定）
内容等	<ul style="list-style-type: none"> <li>・府民会議の構成団体等が候補者を推薦し、「大阪府環境審議会環境・みどり活動促進部会」での選考を経て、大賞、準大賞、奨励賞が授与されます。</li> <li>また、優れた協働活動には、特別賞として「協働賞」を授与し、パートナーシップの構築による環境保全活動を推奨します。</li> <li>・「大阪府環境審議会環境・みどり活動促進部会」委員には、府民会議の企画委員（学識委員）3名が就任しています。</li> </ul> （参照） <a href="http://www.pref.osaka.lg.jp/chikyukankyo/room/prize.html">http://www.pref.osaka.lg.jp/chikyukankyo/room/prize.html</a>

#### エ 「環境にやさしい買い物キャンペーン」の実施

趣旨	日常の買い物において誰もが身近に行えるグリーン購入の実践を通じて、府民や事業者等が環境との関わりを深く認識し、環境に配慮した生活や経済活動を実践するための契機とすることを目的に、国や各都道府県と協働してキャンペーンを実施します。府民会議構成団体の協力を得ながら、より多くの店舗・業種に参加を呼びかけ実施します。
期間	平成27年10月1日～10月31日（予定）
内容等	<ul style="list-style-type: none"> <li>・府内の事業者（参加各店舗）等に対し、特に次の取組みを働きかけます。</li> <li>・キャンペーンポスター等の掲示による消費者への啓発</li> <li>・「環境に配慮した商品」の販売や、簡易包装の実施、買い物袋持参の奨励 など</li> </ul> （参照） <a href="http://www.pref.osaka.lg.jp/chikyukankyo/room/kaimono.html">http://www.pref.osaka.lg.jp/chikyukankyo/room/kaimono.html</a>

#### オ 「知ろう！学ぼう！大阪南港エコフェスタ2015」の実施

趣旨	大阪府、大阪市等との共催で、家族連れを対象に、様々な切口で環境行動を体験、実感していただくことにより、すぐにできる家庭での取組みや、環境活動への参加を実践するきっかけとしていただきます。また、府民会議や構成団体の実践活動を情報発信し、広く府民にお知らせします。
時期	平成27年6月13日
内容等	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ATC I TM棟において、環境行動を体験、実感できるイベントを開催します。</li> <li>・「環境学習・体験コーナー」の出展ブースへ、府民会議構成団体から広く参加を募ります。</li> <li>・府民会議や構成団体の活動を紹介するパネル展示を行います。</li> </ul>

#### カ 府民会議の電子広報誌「かんきょう夢ひろば」の発行

趣旨	府民会議や構成団体の活動を府民等に対して広報するため、電子広報誌「かんきょう夢ひろば」を発行し、活動の紹介やイベント情報等の発信を行います。
期間	年4回程度
内容等	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ホームページ上に掲載する形で発行します。</li> </ul> （参考） <a href="http://www.pref.osaka.lg.jp/chikyukankyo/room/hiroba_back.html">http://www.pref.osaka.lg.jp/chikyukankyo/room/hiroba_back.html</a>

キ 府民会議のホームページ「かんきょう交流Room」の運営

趣旨	インターネットを活用して、府民会議や構成団体の活動を府民等に対して広報するため、府民会議独自のホームページ「かんきょう交流Room」を運営します。
期間	通年
内容等	・「豊かな環境づくり大阪行動計画」の掲載や、「環境壁紙コレクション」など、府民会議の独自事業の紹介を行っています。 (参照) <a href="http://www.pref.osaka.lg.jp/chikyukankyo/room/index.html">http://www.pref.osaka.lg.jp/chikyukankyo/room/index.html</a>

ク 「おおさかエコムービーコレクション」事業の実施（試行）

趣旨	環境活動の様子や環境啓発に繋がる風景等を撮影した短編動画を募集し、応募作品をホームページに掲載することで、環境に関する啓発を行います。
期間	募集：平成27年7月～9月、HP掲載：平成27年9月～（予定）、 表彰：平成28年3月（予定）
内容等	・構成団体の会員をはじめ広く一般の府民等から短編動画作品を募集します。 ・応募作品を府民会議ホームページに掲載し、優れた作品を府民会議で数点選び、表彰します。

(2) 各種キャンペーンへの参加等

ア 「夏季の適正冷房と軽装勤務」の取組みへの参加

趣旨	関西広域連合の提唱のもと、事務所・会議室の適正冷房（28℃）の徹底や、軽装の奨励などにより、省エネの一層の推進を通じて地球温暖化防止を図ることを目的に実施される取組みに参加します。
期間	平成27年5月1日～10月31日
内容等	・適正冷房の徹底や軽装の奨励について、府民会議構成団体への周知を図り、構成団体の会員等に対して取組みへの積極的な参加を促します。

イ 「ライトダウンキャンペーン」・「ウォームビズ」の取組みへの参加

趣旨	環境省の提唱のもと、日頃いかに照明を使用しているかを実感し、地球温暖化対策の実践の動機付けとしてもらうため、ライトアップ施設や家庭・職場の照明を消すように呼びかける「ライトダウンキャンペーン」に参加します。 また、冬季において、厚着の奨励などにより、事務所や会議室の適正暖房（自治体19℃、民間20℃）を徹底し、省エネの一層の推進を通じて地球温暖化防止を図ることを目的に実施される「ウォームビズ」の取組みに参加します。
期間	ライトダウン：平成27年6月21日～7月7日 ウォームビズ：平成27年11月1日～平成28年3月31日（予定）
内容等	<p>&lt;ライトダウン&gt;</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・キャンペーンへの参加（環境省の専用サイトで登録）について、府民会議構成団体への周知を図り、積極的な登録を促します。</li> <li>・特別実施日である夏至（6月21日）の「夏至ライトダウン」（ブラックイルミネーション）と、七夕（7月7日）の「七夕ライトダウン」（クールアース・デー）について、府民会議構成団体の参加状況やCO<sub>2</sub>削減量等を取りまとめ、ホームページで公表します。 （参考）<a href="http://www.pref.osaka.lg.jp/chikyukankyo/room/lightdown.html">http://www.pref.osaka.lg.jp/chikyukankyo/room/lightdown.html</a></li> </ul> <p>&lt;ウォームビズ&gt;</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・適正暖房の徹底について、府民会議構成団体への周知を図り、構成団体の会員等に対して取組みへの積極的な参加を促します。</li> <li>・府民会議構成団体のキャンペーンへの参加状況を取りまとめ、ホームページで公表します。 （参考）<a href="http://www.pref.osaka.lg.jp/chikyukankyo/room/warmbiz.html">http://www.pref.osaka.lg.jp/chikyukankyo/room/warmbiz.html</a></li> </ul>

ウ 「省エネラベルキャンペーン」（夏、秋冬）の周知等

趣旨	省エネ型家電製品の導入を誘導し、家庭におけるCO <sub>2</sub> 排出量を削減するため、商品に添付して省エネ情報をわかりやすく提供する「省エネラベル」を普及させ、消費者に知らってもらうことを目的に、大阪省エネラベルキャンペーン実行委員会が実施しているキャンペーンの周知等を図ります。
期間	夏：平成27年6月～8月、秋冬：平成27年11月～平成28年1月頃（予定）
内容等	・府民会議構成団体を通じてその会員等に周知等を図ります。

エ 「グリーン購入セミナー」の周知

趣旨	グリーン購入の促進を啓発するため、大阪グリーン購入ネットワーク（大阪GPN）が開催する「大阪グリーン購入ネットワークセミナー」について、グリーン購入についての理解を深めてもらうため、府民会議のネットワークを活用して広く参加者を募ります。また、セミナー会場において、府民会議や構成団体の活動を紹介します。
時期	平成27年秋～冬期（予定）
内容等	<ul style="list-style-type: none"> <li>・大阪GPNにおいて、基調講演や事例発表などを内容とするセミナーが開催されます。</li> <li>・会場において府民会議や構成団体の活動を紹介します。</li> <li>・府民会議のネットワークを生かして広く参加者を募ります。 （参考）<a href="http://www.osaka-gpn.jp/static/top.php">http://www.osaka-gpn.jp/static/top.php</a></li> </ul>

オ 「ストップ地球温暖化デー」や各種イベント等の周知

趣旨	毎月16日の「ストップ地球温暖化デー」や、地球温暖化対策や省エネ行動の実践等に関するその他の各種イベントについて周知を図ります。
期間	随時実施
内容等	・府民会議や構成団体主催のイベント等において周知、啓発等を行います。

(3) 大阪府環境保全活動補助事業への協力

趣旨	大阪府が、民間団体の環境保全活動を奨励することを目的として、先進的で他の模範となる環境保全活動に対して助成を行う事業について、府民会議として協力します。
時期	募集：平成27年4月、審査：平成27年6月、決定：平成27年6月
内容等	・補助事業の審査が行われる「大阪府環境審議会環境・みどり活動促進部会」委員に府民会議の企画委員（学識委員）3名が就任しています。 (参照) <a href="http://www.pref.osaka.lg.jp/chikyukankyo/katsudo/hojyokin.html">http://www.pref.osaka.lg.jp/chikyukankyo/katsudo/hojyokin.html</a>

## 2 平成26年度の府民会議主体の活動の報告

平成26年度は、環境に関するテーマに基づいて、パソコン・ディスプレイの壁紙デザインを募集し、応募作品を府民会議ホームページに掲載し、好みのデザインのもを誰もが気軽にダウンロードできるようにすることによって啓発につなげる「環境壁紙コレクション」事業を実施したほか、他の模範となるような環境保全活動に取り組んでいる団体・事業者に対して「おおさか環境賞」を授与し、顕彰しました。

また、大阪府内の大学のゼミやサークルにおいて、積極的な創意工夫により行われている省エネ、省資源又は自然環境保全の取組みを募集し、府民会議ホームページで広く府民に紹介する「発掘！おおさかエコ事典（大学編）」事業を実施しました。

さらに、グリーン購入の実践を通じて、府民や事業者が環境の関わりを認識し、環境に配慮した生活・経済活動を実践する契機としていただくことを目的に「環境にやさしい買い物キャンペーン」を実施しました。

その他、国等の呼びかけに応じて参加した「ライトダウンキャンペーン」や「ウォームビズ」については、府民会議構成団体の参加状況を取りまとめて府民会議ホームページで公表したほか、「夏季の適正冷房と軽装勤務」、「省エネラベルキャンペーン」、「大阪グリーン購入ネットワークセミナー」等の各種キャンペーン等については、構成団体を通じてその会員等への周知を図り、積極的な参加と実践を促しました。

環境保全活動に取り組んでいる団体に対し補助金を交付する「大阪府環境保全活動補助事業」についても、事業実施に関して府民会議として協力しました。

こうした府民会議や府民会議構成団体の活動については、電子広報誌「かんきょう夢広場」（年4回発行）や、府民会議ホームページにおいて紹介しました。

### (1) 「発掘！おおさかエコ事典（大学編）」事業の実施

大阪府内において、積極的な創意工夫により行われている省エネ、省資源又は自然環境保全の取組みを募集し、その取組みをとりまとめ、『おおさかエコ事典レポート』として府民会議ホームページで広く府民に紹介（情報発信）し、取組みを広めていきます。

平成26年度は大阪府内の「大学」における、ゼミ、サークルの取組みを対象に募集しました。

＜H27年6月末現在応募団体＞

- |                             |                             |
|-----------------------------|-----------------------------|
| ・ E～(え～)きゃんぱすの会<br>(大阪府立大学) | ・ エコ推進プロジェクト<br>(大阪産業大学)    |
| ・ 環境部エコロ助 (大阪府立大学)          | ・ 里環境の会 O P U (大阪府立大学)      |
| ・ 菜の花プロジェクト<br>(大阪産業大学)     | ・ エコシビル部 (摂南大学)             |
|                             | ・ 経営学部 水野ゼミナール<br>(追手門学院大学) |



## (2) 「環境壁紙コレクション」事業の実施

パソコン・ディスプレイの壁紙デザインを募集し、応募作品をホームページに掲載して、好みのデザインのもを閲覧者の誰もが気軽にダウンロードできるようにすることにより環境に関する啓発につなげる「環境壁紙コレクション」事業を実施しました。

平成26年度は「みんなで実践！楽しい省エネ生活～衣食住を考える～」をテーマに広く作品を募集したところ、学生部門68作品、社会人部門8作品の応募があり、各作品の閲覧件数を参考に、府民会議において、学生部門の最優秀作品1点と優秀作品6点、社会人部門の最優秀作品1点と優秀作品1点をそれぞれ表彰しました。

(参照) [http://www.pref.osaka.lg.jp/chikyukankyo/room/collection\\_gallery26.html](http://www.pref.osaka.lg.jp/chikyukankyo/room/collection_gallery26.html)



【学生部門】

＜最優秀作品賞＞受賞作  
「すずしいところにあつまろう」



【社会人部門】

＜最優秀作品賞＞受賞作  
「みんなで重ねれば、もっとあったかくなるよ」

## (3) 平成26年度「おおさか環境賞」の実施

「おおさか環境賞」は、地球温暖化防止や自然との共生、快適環境の創造など、自主的かつ積極的に他の模範となる環境の保全又は創造に資する活動に取り組み、顕著な功績のあった個人・団体・事業者を表彰するものです。

平成26年度は、以下の方々が受賞され、平成26年9月1日に大阪府公館において表彰式を行いました。

(参照) <http://www.pref.osaka.lg.jp/chikyukankyo/room/prize.html>



(府民活動部門の受賞者の皆様)



(事業活動部門の受賞者の皆様)

**<大賞> 府民活動部門 摂南大学 文化会 エコシビル部**

**【活動名】淀川水系を中心とした流域連携活動**



淀川流域を中心として、地域の市民団体と一緒に親水活動や環境保全活動を行っておられます。具体的には、淀川の点野地区を拠点として外来生物の駆除、清掃活動に取り組むとともに、ボートの乗船体験による親水活動を実施されています。また、「寝屋川クリーン作戦」や近畿「子どもの水辺」発表会スタッフとして各イベントの企画・実施に携わるなど、流域内の広い範囲で地域に貢献されています。

学生自身が主体的に活動に参画し、各種団体との連携を深めながら、年間 40 回を超える活動に取り組まれることにより、地域社会に活動が広く普及している点が高く評価されました。また、ボートの乗船体験等の河川での活動を通じ、地域住民や子どもたちを対象とした、社会に貢献できる人材育成にも寄与されています。

**<大賞> 事業活動部門 新関西国際空港株式会社**

**【活動名】『雑草一転、空港肥やせ!』～大阪国際(伊丹)空港～**



従来、焼却処分としていた伊丹空港の刈草を、独自の工夫により飼料化・肥料化し、動物愛護団体への提供、地域ボランティア団体・地元の学校・農家等への無償提供、空港緑地への利用等を行うことで再利用されています。国内空港としては初めて農林水産大臣に肥料生産者登録するとともに、肥料生

産のノウハウを広く技術提供する等、間接的にゴミの減量化にも貢献されています。飼料化・肥料化により、空港内における刈草の焼却処分量ゼロを達成された点が高く評価されました。また、各種プロジェクトを地元の高校生やボランティアと連携しながら進めることで活動の幅をひろげると同時に、府民に対する 3R 活動の普及啓発に貢献されています。

**<準大賞> 府民活動部門 大東環境みどり会**

**【活動名】大東環境みどり会による環境保全活動**



大東市が実施する「だいとうシニア環境大学」の修了生有志によって構成され、市内の環境保全を目的として、「竹の活用」「公園」「ごみ減量」「紙芝居」等の各グループに分かれ、多様な活動を行っておられます。また、地域の大学からアドバイスを受けながら、「菜の花プロジェクト」での種まきなど、学生と連携した活動も積極的に行われています。

地域の環境リーダーとなるべく、自発的で多彩な活動を展開し、市民目線で継続的に活動に取り組まれている点が高く評価されました。

た。また、シニア層の活躍の場を自ら創出するとともに、地元の大学と連携することで、活動の幅をさらに広げ、柔軟な活動を展開されています。

<奨励賞> 府民活動部門 <sup>ひがき</sup> 檜垣 <sup>かつよし</sup> 勝美

【活動名】環境ボランティア

平成4年から地域の子供達との町内清掃や美化活動、水生生物調査等の環境ボランティア活動に取り組むとともに、市の環境問題対策にも貢献されています。

環境ボランティアがまだ世間に定着していない20年以上前から町内清掃や美化活動等、地域に根ざした活動に取り組み、リーダー的な役割を果たされた点が評価されました。また、市の環境保全審議会の会長を務める等、行政との連携にも尽力されています。

<奨励賞> 府民活動部門 ガールスカウト大阪府第134団

【活動名】東日本大震災復興支援活動『みんなの心がつながりますように…』134団の取り組み

東日本大震災により緑が少なくなった被災地へ花の種を送り、緑を増やす活動を続けられています。府内にとどまらず活動範囲を広げることにより、小さいころから自然、緑に対する意識を育て、豊かな環境の保全につながるよう活動されています。

被災地とのつながりを重視した活動を地道に展開されている点が評価されました。また、花の種を送る活動を通して、子どもたちに思いやりの心を育てることに寄与されています。

協働賞

府民活動部門 ・ ガールスカウト大阪府第134団  
・ 一般社団法人OVAL HEART JAPAN

被災地に花の種を添えたお便りを送るガールスカウトの活動に対し、協働者であるOVAL HEART JAPANが、その種とお便りを受け取ってもらえるよう、現地にてプレゼンテーションを行ったり、実際に仮設住宅に住む方とコンタクトを取られました。

被災地で地道な活動を展開しているOVAL HEART JAPANと協働することで、仮設住宅での生活を余儀なくされている被災者との直接的な関わり合いを持つことができました。それにより、遠く離れた大阪の地からでも花の種やお便りを確実に送り届けることを可能にし、継続的な活動展開に寄与している点が協働取組として高く評価されました。

<奨励賞> 事業活動部門 大阪エネルギーサービス株式会社

【活動名】大阪エネルギーサービス第2プラントの高効率運転(省エネルギー化)に向けた事業活動

大阪駅北ビル開発プロジェクトにおいて、地域冷暖房を採用し、各専門分野を交えた性能検証・運用改善に取り組むことで、全国でも高水準のエネルギー効率目標を達成されています。

地域冷暖房プラントにおいて、国内トップレベルの省エネルギー・省CO2の取り組みを進められている点が評価されました。また、汎用性の高い機器による構成としたことにより、他プラントへの水平展開が可能であることも魅力的であり、今後、この技術がさらに発展し、広く社会に普及していくことが期待されます。

＜奨励賞＞ 事業活動部門 京セラ株式会社 大阪大東事業所

【活動名】環境出前事業「地球にやさしい太陽電池についての学習」

学校教育の中で環境問題やエネルギーに対して理解を深め地球を思う心を育てることを目的に、社員が講師となって、大東市内の全小学校及び府内小学校の4年生を主な対象として、太陽光電池を題材にした環境出前授業を行っておられます。

楽しく学べる参加体験型の環境出前授業を、これまで延べ104回、5,291名の児童に対して実施し、次代を担う子どもたちへの環境教育に寄与されている点が評価されました。今後、更に授業の題材や活動の範囲を広げることで、より幅広く、府民に対する環境啓発活動を展開されることが期待されます。

(4) 環境にやさしい買い物キャンペーンの実施

平成26年10月に、消費者に環境にやさしい消費行動（グリーン購入）を呼びかけ、環境に配慮したライフスタイルの実践を促すため、スーパーや生活協同組合等の店舗において「環境にやさしい買い物キャンペーン」を実施しました。

(参照) <http://www.pref.osaka.lg.jp/chikyukankyo/room/kaimono.html>

実施期間	平成26年10月1日～10月31日
参加店舗	スーパー・生協・百貨店・商店街等 4,548店舗
主な内容	<p>☆共通の取組            キャンペーンの一元的な取組を設定し、各店舗で実施しました。</p> <p>（ポスターの掲示、環境に配慮した商品等の積極的な販売、包装の削減、買い物袋の持参等）</p> <p>☆店舗独自の取組            各店舗の状況に応じて、グリーン購入の普及に即した独自の取組を実施しました。</p> <p>（環境に配慮した商品の販売            ・マイバック持参運動と簡易包装の推進（各店で目標値を決めて取組を推進）            ・学校からの社会見学の依頼の際に、エコ学習会を開催。            ・飲食店でリユース箸を導入。            ・エコバックの廉価販売            ・レジ袋不要のお客様にポイント付与。            ・簡易包装の推進、マイバックの利用促進について、終朝礼を利用し、従業員への再周知を徹底。）</p>
その他	府民会議及び大阪府が、環境省、経済産業省、3R活動推進フォーラム、全国の都道府県との共同キャンペーンとして実施しました。





#### (5) 「知ろう！学ぼう！大阪南港エコフェスタ」の開催

大阪府、大阪市等との共催で、家族連れを対象に、様々な切口で環境行動を体験、実感していただくイベントを開催することにより、すぐにできる家庭での取り組みや、環境活動への参加を实践するきっかけとしていただきました。（平成26年6月7日に開催。）



構成団体による「環境学習・体験コーナー」へのブース出展や、府民会議・構成団体の活動を紹介するパネル展示を行いました。

（参照）<http://www.pref.osaka.lg.jp/kannosomu/eco-event/>

#### (6) 府民会議の電子広報誌「かんきょう夢ひろば」の発行

豊かな環境づくり大阪府民会議の活動や、構成団体に取り組んでいる活動等について紹介し、広報等を行うため、年4回電子広報誌「かんきょう夢ひろば」をHPに掲載する形で発行しました。

（参照）[http://www.pref.osaka.lg.jp/chikyukankyo/room/hiroba\\_back.html](http://www.pref.osaka.lg.jp/chikyukankyo/room/hiroba_back.html)

#### (7) 府民会議のホームページ「かんきょう交流Room」の運営

インターネットを活用し、豊かな環境づくり大阪府民会議の事業や構成団体の活動について広報等を行うため、ホームページ「かんきょう交流Room」を運営しました。

#### (8) 各種キャンペーンへの参加等

府民会議及び構成団体は、国等の呼びかけにより実施されている様々なキャンペーンに積極的に参加しました。

夏季において、軽装の奨励などにより、事務所や会議室の適正冷房（28℃）を徹底し、省エネの一層の推進を通じて地球温暖化防止を図る「夏季の適正冷房と軽装勤務」の取り組みについては、府民会議構成団体を通じて会員等への周知と積極的な参加を促しました。

また、消灯というシンプルな行動を通じて地球温暖化問題を意識してもらうためライトアップ施設や家庭・職場の電気を消すように呼びかける「ライトダウンキャンペーン」、冬季において、厚着の奨励などにより、事務所や会議室の適正暖房（政府・自治体 19℃、民間 20℃）を徹底し、省エネの一層の推進を通じて地球温暖化防止を図る「ウォームビズ」の取り組みについては、府民会議構成団体への周知と積極的な参加を促すとともに、府民会議構成団体の参加状況を取りまとめホームページで公表しました。

さらに、家電製品の省エネ性能を表示する「省エネラベル」を商品に貼付して家庭における省エネ型家電製品の導入を誘導する「省エネラベルキャンペーン」や、グリーン購入の促進を啓発するために大阪グリーン購入ネットワーク（大阪GPN）が開催する「大阪グリーン購入ネットワークセミナー」、府民一人ひとりが地球温暖化について考え、環境にやさしい行動を实践する日と定められた、毎月16日の「ストップ地球温暖化デー」等について、府民会議構成団体を通じて会員等への周知を図りました。

(参照) ライトダウンキャンペーン



<http://www.pref.osaka.lg.jp/chikyukankyo/room/lightdown.html>

(参照) ウォームビズ



<http://www.pref.osaka.lg.jp/chikyukankyo/room/warmbiz.html>

#### (9) 平成26年度大阪府環境保全活動補助事業による活動支援

大阪府が、民間団体の環境保全活動を奨励することを目的として、先進的で他の模範となる環境保全活動に対して助成を行う事業について、府民会議としてその審査に協力しました。

具体的には、補助事業の審査が行われる「大阪府環境審議会環境・みどり活動促進部会」委員7名のうちの3名が府民会議の企画委員の中から選任され、補助対象案件の審査に協力しました。

審査の結果、平成26年度は、7件 1,323,407円の補助金が交付されました。

(参照) <http://www.pref.osaka.lg.jp/chikyukankyo/katsudo/hojyokin.html>

[平成26年度補助対象事業一覧]

団体名	活動名	活動概要	対象者	実施時期	実施場所
特定非営利活動法人 NPOクワガタ探検隊	北大阪から拡がれ！里山の命との感動体験	五月山自然公園や府営箕面昆虫館で里山の命と触れ合う体験活動を通し、将来の森を守る人材を育成するとともに、府営箕面昆虫館の支援活動を行った。また、大阪の自然を正しく紹介する創作絵本の読み聞かせを行うとともに、希望する子どもたちに絵本を配布したり幼稚園・小学校・図書館等の教育機関に絵本を寄贈した。あわせて、箕面川で川遊びをしながら生物の観察を行うなど自然探検を行うとともに、ごみ拾い清掃活動を実施した。	府民 約 1,300 名	H26.6～ H27.3	池田五月山自然公園・箕面自然国定公園
枚方食農・楽農・活農の会	「楽農まつり～環境を守り育む農のすすめ～」の開催	地域農家と体験農園のメンバーが協働で環境保全啓発体験イベントを開催した。当会は地域の環境や水資源、自然循環能力などを良好に保つため、地域内の遊休農地を復旧し、環境負荷をもたらす除草剤や化学肥料を使用せず、自家製の堆肥と有機肥料により環境と人に優しい有機循環型の野菜作りを指導している。このような環境を守り育む「農」の多面的な機能を広く府民に知ってもらうきっかけづくりとして、普段自然に触れる機会の少ない都市部の子どもたちやその家族が楽しみながら環境や農について学べる体験を各種用意し、実施した。	府民 約 1,500 人	H26.12	杉・五兵衛

団体名	活動名	活動概要	対象者	実施時期	実施場所
木育情報ネット	街の中で国産材を見て触って山のこと・環境のことを考えよう	環境・エコについて子どもたちの話し合いの場をつくり、地球温暖化防止のためのエコ博士を育成することを目的に、夏休みに「こどもの家」を開催した。学生ボランティアや地域の住民を巻き込むことで広く環境や地球温暖化防止に関する普及をあわせて行った。森林組合と協力し山に行き森林保護等を学びとともに、エコ木工教室を開催し国産材を使って木のよさを体験した。	子どもを中心とした府民約1,300名	H26.8～ H26.9	大阪市、 羽曳野市
NPO法人中小企業サポート隊	用途に合わせた分散型クリーン電源に向けての啓発事業	東日本大震災時に発生した原子力発電所の事故により、分散型電源の考え方が出てきた。CO <sub>2</sub> を出さない自然エネルギーの発電を各地に設置し送電ロスをなくすためにも近くで消費する地産地消の考えも明確化されてきた。このような考えに基づき、マイクロ水力発電を分散型クリーンエネルギーとしてCO <sub>2</sub> 削減に貢献していく研究・検討を行った。雨水落下を利用したビル発電や、水道水に蛇口に取り付けた小型発電器による発電の実証実験を行った。また、子供向け環境出前塾を行った。	府民等 約160人	H26.6～ H27.3	大阪市
NPO法人地球環境再生機構	児童・幼児とその家族、ボランティアによる「菜園教室と環境学習と食育」	若年層を対象として、地域ボランティアと一体となって有機農法を基にした堆肥づくりを通して無農薬の野菜作りをすることで循環型社会を体験し、それらが環境改善・人々の健康に大きく貢献することなどを学習した。里山や生物多様性について講演形式で専門家の話を聞くとともに、エコツアーを実施した。	児童とその家族 約100名	H26.6～ H27.3	茨木市



団体名	活動名	活動概要	対象者	実施時期	実施場所
認定NPO法人地球環境市民会議（CASA）	大阪府内の地球温暖化の兆候調べと市民連続講座地球環境大学の開催	IPCC第5次評価報告書で温暖化の原因は95%以上の確率で人間活動であるとされていることから、大阪府内を中心に農業、漁業、林業などに見られる温暖化の兆候を調査し、その結果を公表した。また、市民連続講座地球環境大学を開催し、市民が温暖化を身近なものとして捉え、ライフスタイル改善の意識を高めるように普及啓発した。	府民 約100名	H26.6～ H27.2	大阪府内
太陽光発電所ネットワーク大阪地域交流会	太陽光発電所の普及推進と適正な維持管理の推進事業	最近の個人住宅には建設時に太陽光発電パネルが設置されているものが増えてきたが、居住者が適切に維持管理する仕組みがまだ確立されておらず、性能が発揮されないばかりでなく、時には火災等の事故につながる危険性も指摘されている。そのため、維持管理の習慣をつけてもらう近隣住民交流型の維持管理啓発事業を行うとともに、イベントの開催・出展を行い、太陽光発電の普及啓発を広く府民に対し行った。	府民 約50名	H26.7～ H27.3	大阪市、 吹田市、 豊中市

### 3 府民会議構成団体の活動

府民会議に参加している府民団体、事業者団体、関連団体等の平成27年度の活動予定及び平成26年度の活動報告の概要は、次頁以下に掲載しているとおりで

です。

「Ⅰ グリーン購入の推進」については、26年度は14団体が取り組みました。27年度も14団体が、グリーン購入の実践をはじめ、グリーン購入についての啓発、買い物袋（マイバッグ）持参運動の実施、環境に配慮した商品の開発・販売などに取り組みます。

「Ⅱ ごみ減量化・リサイクルの推進」については、26年度は13団体が取り組みました。27年度も13団体が取り組みます。うち、府民団体では構成員の一人ひとりがごみの減量化や分別廃棄などの具体的な実践行動に取り組み、事業者団体では、簡易包装による包装材の減量化や食品リサイクル、各店舗における廃棄物の分別回収等のリサイクル運動の実践などに取り組みます。

「Ⅲ 家庭や学校・職場での省エネ・創エネの推進」については、26年度は17団体が取り組みました。27年度も17団体が、事務所等におけるスイッチオフや、夏季の適正冷房・軽装を行うエコ・スタイルの実践などによる電力使用量の削減等に取り組みます。

「Ⅳ 自動車の使用の見直し・エコドライブの推進」については、26年度は6団体が取り組みました。27年度も7団体が、エコドライブやアイドリングストップの実践、ノーマイカーデー等における公共交通機関の利用促進、低公害車の普及啓発などに取り組みます。

「Ⅴ 自然環境の保全とふれあいの推進」については、26年度は9団体が取り組みました。27年度も9団体が、森林や里山の保全、河川の浄化や美化、生態系の保全、イベント実施時のごみの持ち帰りや環境配慮の徹底などに取り組みます。

「Ⅵ 緑化の推進」では、26年度は4団体が取り組みました。27年度も4団体が、植樹や緑化運動などに取り組みます。

その他にも、府民会議構成団体が実施する啓発イベントやセミナー・研修会等に、延べ約6万人の参加を見込んでいます。

なお、各構成団体の活動の具体的な内容や実績については、下記ホームページに重点行動テーマごとに分類して掲載しています。

(<http://www.pref.osaka.lg.jp/chikyukankyo/room/keikaku.html>)

☆☆ 府民団体 ☆☆

**団体名 一般社団法人 大阪エイフボランティアネットワーク**  
**HP**

平成 26 年度活動の重点目標として実施した、V 自然環境の保全とふれあいの推進については、「きれいな水を取り戻す運動」で、その内容は行政機関や自治会等と連携して実施した道路側溝・公園・駅周辺・河川敷・海浜等の清掃活動や、廃食用油を回収して石鹸づくりを行う等で、瀬戸内海に流入する河川の水質改善に努めました。

次に、II ごみの減量化・リサイクルの推進については、買い物時のレジ袋不要運動やマイバック持参運動を推進するとともに、行政機関や自治会等と連携してリサイクル可能な廃棄物を分別回収し、回収後にリサイクル業者へ引き継ぎました。

また一部の団体では、古綿布を回収して洗濯アイロンかけ後、一定の大きさに裁断のうえ高齢者施設の清拭用布として寄贈しました。

そのほか、VI 緑化の推進では地域の緑化活動に積極的に参加するとともに、I グリーン購入の推進では街頭での啓発活動を実施しました。

平成 27 年度においても、これまで同様、市・町および関係団体や近隣住民とともに、啓発活動、実践活動を推進します。

<平成 26 年度に取組を行った重点行動の項目番号> I、II、VI、その他

<平成 27 年度に取組を行う重点行動の項目番号> I、II、VI、その他

**団体名 一般財団法人 大阪府子ども会育成連合会**  
**HP** <http://www2.ocn.ne.jp/~fukodomo/>

平成 26 年度については、環境学習の視点を取入れ、子ども自身が体験や調査を通じて環境問題について学び、その成果を地球の人々に発信していく地域ぐるみの活動を呼びかけてまいりました。

平成 27 年度についても広報紙「子ども会大阪」を通じて地球温暖化防止を呼びかけてまいります。また、リサイクル活動、公園や街の清掃、身近な自然の観察、こどもによる地域の安全マップ作成など豊かな環境づくりに向けた地域ぐるみの活動を展開してまいります。

<平成 26 年度に取組を行った重点行動の項目番号> その他

<平成 27 年度に取組を行う重点行動の項目番号> その他

**団体名** 大阪府生活協同組合連合会  
**HP** <http://www.osaka-union.coop>

平成26年度、大阪府生協連合会は「豊かな環境づくり大阪府民会議」の構成団体として、「環境にやさしい買い物キャンペーン」「ライトダウンキャンペーン」等に引き続き参加しました。

また、行政、事業者、環境団体、消費者団体が連携して取り組む、家電製品の「省エネラベルキャンペーン」の大阪実行委員会に参加し、量販店での省エネラベルの活用実態のモニタリング、消費者の省エネラベルの認知度調査等の活動をすすめました。

平成27年度も引き続き各種キャンペーンに参加します。また府内の環境団体や消費者団体と連携し、環境保全や今後のエネルギー政策をテーマとした学習活動等を推進し、引き続き家庭での省エネ活動を推進します。

<平成26年度に取組を行った重点行動の項目番号> I、II、III

<平成27年度に取組を行う重点行動の項目番号> I、II、III

**団体名** 大阪府青年団協議会  
**HP**

平成26年度も、例年推進しているグリーン購入の推進を、主に事業ごと、諸会議の中で加盟市町団のメンバーに訴えながら、実施に向けて進めてまいりました。

平成27年度は、市町村青年団単位で、地域ごとの活動を推進してまいります。

(例) 岸和田市 側溝の薬剤散布(6月予定)

市内各地域で側溝に防虫のため薬剤を散布する。

泉佐野市 あいがもを使った無農薬農園(通年)

あいがもを使って無農薬の農園を子どもたちといっしょに年間を通じて収穫まで環境教育の一環で行う。(田んぼの学校)

泉南市 緑化の推進(身近にできる緑化を推進)(花、草木の栽培、地域の緑化)

<平成26年度に取組を行った重点行動の項目番号> I、II、IV

<平成27年度に取組を行う重点行動の項目番号> I、II、IV

21世紀を担うガールスカウトの少女達が責任ある「世界市民」の一員として、地域の今日の問題である環境問題への取り組みを日常の活動の中に取り入れ実施しました。

① ごみ減量化・家庭での省エネ：ガールスカウトでは常に色々な活動の場面で、ごみの減量化、省エネに取り組んでいます。特にキャンプでは、節水、節電を生活の中で体験し、日常生活に反映させています。また各地区で開催の事業では、ゴミの持ち帰りを徹底しています。豊中市内の団では「豊中市伊丹市クリーンランド」を見学、家庭でのごみの行方を知り、説明を聞くことにより、日常生活での「私のできること」に積極的に関わっています。



② 自然環境の保全とふれあいの推進：森や緑に関わる活動として、子どもたちから「木とふれあい、木を学び、木と生きる」・「木育」を始めました。子どもたちから木を身近に使っていくことを通じて、人と木や森とのかかわりを主体的に考えられる豊かな心を育みます。ピースプロジェクト Greener×Greener の一環として、木を使って循環型社会を目指す「木育プロジェクト」に取り組みます。

今年度は府下2ヶ所まで一般の参加者と共に、自然を体験するプログラムと、木材の基礎知識、木と環境の話・木のクイズをとおして日本の木材事情を知り、その後自由工作でそれぞれの作品を作りました。



<平成26年度に取組を行った重点行動の項目番号> I、II、III、V、VI、その他

<平成27年度に取組を行う重点行動の項目番号> I、II、III、V、VI、その他

※公益社団法人ガールスカウト日本連盟では平成22年よりピースプロジェクト Greener × Greener を始めています。平成26年からは、Greener × Greener IIとして、私たちの住んでいる地域の環境を知り、地域がよりよい環境になるよう活動を通して考えることで、環境問題は私たちが住む日本だけの問題ではなく、世界(地球規模)の問題であることに気づき、世界に目を向けます。

**団体名** 国際ソロプチミスト大阪  
**HP** <http://www.si-osaka.jp/>

平成26年度は、

- ・ マイバッグ持参、グリーン購入の推進運動
  - ・ 環境ラベルの周知徹底
  - ・ ごみ減量としてのリユース・リサイクルへの理解及び周知徹底
  - ・ 省エネ推進としてスイッチオフ運動、また太陽光発電、新エネの理解
  - ・ 自動車使用の見直し、エコドライブの推進として、自家用車のアイドリングストップの取り組みへの呼びかけ
  - ・ 環境美化に関わる活動としてCO2削減や緑化の実践行動の推進
- 上記を実施いたしました。

平成27年度

- ・ マイバッグ持参、グリーン購入の推進運動
- ・ 球根や花の種を配布し、街の緑化に協力
- ・ ごみ減量としてのリユース・リサイクルへの理解及び周知徹底
- ・ 省エネ推進としてスイッチオフ運動、また太陽光発電、新エネの理解
- ・ 省エネ、新エネの重要性を認識し、推進に協力

以上について、提案・実施の推進をいたします。

<平成26年度に取組を行った重点行動の項目番号> I、II、III、IV、VI、その他

<平成27年度に取組を行う重点行動の項目番号> I、II、III、IV、VI、その他

団体名 国際ロータリー第 2660 地区  
HP <http://www.ri2660.gr.jp/>

国際ロータリー第 2660 地区は 82 クラブ、3663 名の会員（2015 年 1 月末現在）で構成されています。各クラブは自主的に奉仕活動しており、地区社会奉仕委員会は各クラブの活動を支援する立場で関わっています。

当委員会は大阪湾再生に協力し、水環境改善を各クラブに推奨しています。これは府民会議の 33 の重点行動のうち 27 番目に当たるテーマと考えています。

平成 26 年度 2660 地区社会奉仕委員会は、

- ① 大阪湾再生に協力し、国土交通省近畿地方整備局から講師をお招きし、各クラブの社会奉仕委員長に大阪湾再生の水環境改善について研修し、希望するクラブへも講師をお願いし、例会での講演を行いました。



- ② 大阪湾の現状と水環境管理レポートを各クラブに提供し、河川の清掃活動について紹介し、参加を推奨しました。

<http://www.pref.osaka.lg.jp/kasenkankyo/kyoudou/yamatogawakurin.html>

平成 27 年度地区社会奉仕委員会は、

大阪湾再生に協力して、引き続き各クラブに水環境改善活動を推奨し、河川の清掃活動への参加を呼びかけます。

<平成 26 年度に取組を行った重点行動の項目番号> V

<平成 27 年度に取組を行う重点行動の項目番号> V

**団体名 なにわの消費者団体連絡会****HP**

平成 26 年度は、「なにわの消費者団体連絡会」としては「環境問題」に特化した活動に取り組みませんでした。個々の構成団体の中には環境問題に取り組んだ団体がありました。

## ①生活協同組合エスコープ大阪

- ・環境会計簿
- ・エネルギー問題 など

## ②とよなか消費者協会

- ・環境保全、リサイクル活動（資源回収、リサイクル啓発）トレー実態調査などの活動
- ・地産地消 など

## ③生活協同組合コープこうべ

「コープの森 社家郷山について」

地球温暖化防止に向け、CO<sub>2</sub>など温室効果ガスの削減が求められています。植物は、光合成によってこの CO<sub>2</sub> を吸収するため、森林を良い状態に保つことが温暖化防止につながると言われています。

コープこうべでは、「マイバッグ運動」で9割の方にマイバッグをお持ちいただいておりますが、どうしてもレジ袋が必要で購入された方からいただいた代金の一部を活用し、2008年度から10年間の予定ですすめており、はやくも中間年が経過しました。西宮市内にある里山「社家郷山（しゃけごうやま）」を整備しています。森林整備のプロの力を借りながら、組合員や職員もボランティアとして整備活動をすすめ、このことを通じてくらしと環境のつながりを体験的に学習する場にしたいと考え、計画の半ば平成25年度からはコープ委員会に積極的に呼び掛け、里山保全について学習をしています。

平成26年度は、重点活動について引き続き取り組みました。今年度も引き続き広く委員会に呼び掛け活動をしていきます。

<平成26年度に取組を行った重点行動の項目番号> I、III、V

<平成27年度に取組を行う重点行動の項目番号> I、III、V

**団体名 公益社団法人 日本青年会議所近畿地区大阪ブロック協議会****HP <http://www.jaycee.or.jp/2015/kinki/osaka/>**

平成26年度は、事業実施時に大阪府下各地青年会議所にも環境配慮を呼びかけました。エネルギー問題についても多くの発信をいたしました。

平成27年度も事業実施時には、大阪府下各地青年会議所に対して公共交通機関の使用等を推奨し環境配慮を呼びかけます。

また5月に行われる事業ではエンジョイエコカードを利用し公共交通機関を使った事業を行い環境配慮への意識向上を促します。

<平成26年度に取組を行った重点行動の項目番号> III V

<平成27年度に取組を行う重点行動の項目番号> III V



**団体名** 日本ボーイスカウト大阪連盟

**HP** <http://swo.to>

平成26年度は、毎年全国的で行っている「カントリー大作戦」を、9月15日大阪府内の各加盟団が各団地域で、約1万個の空き缶やペットボトルの回収とともに地域清掃を一斉活動として行いました。

この活動は、20年を超える活動として行ってきましたが、当初10万個の回収が、現在は10分の1になり社会的に空き缶やゴミの放置は少なくなってきました。現在は、啓発活動として行う面が強く、ペットボトルのキャップを回収して団体に贈る等、リサイクル活動の側面が付加されてきました。

また、戦後間もなくから継続している「緑の羽根募金活動」の街頭募金活動と府内の植樹を実施しました。

平成27年度は、カントリー大作戦の継続実施と、環境美化を中心とした「豊かな環境づくり」の啓発に努めていきたい。

また、キャンプやハイキングなどの野外活動のフィールドでの環境配慮実践をより高度に、より今日的に行えるよう日々の研究を行いたい。

<平成26年度に取組を行った重点行動の項目番号> II、その他

<平成27年度に取組を行う重点行動の項目番号> II、その他

**団体名:** 日本野鳥の会大阪支部

**HP:** <http://sun.gmob.jp/wbsj-osaka/>

平成26年度において、野鳥の会では、活動の中心である自然観察会で公共交通機関の利用を徹底し、車の使用を見直し、世界規模で問題となっている「地球温暖化防止」に努めました。

また、野生動物と共存できる環境を守る事を進めるため、「自然とのふれあいの推進」の啓蒙のために、学校、会社、団体に対し野鳥観察指導等とおして啓蒙活動を行いました。

さらに、関西の河川でゴミ拾いを行っているボランティア団体「ゴミンゴ・ゴミ拾いネットワーク」と協同して、淀川・海老江干潟で春の5月、秋の9月の2回シギチドリを観察した後、ゴミンゴの皆さんとゴミ拾いを実施しました。

平成27年度も、引き続き、これらの実践活動を実施していく予定です。

<平成26年度に取組を行った重点行動の項目番号> II、IV、V、その他

<平成27年度に取組を行う重点行動の項目番号> II、IV、V、その他

**団体名** 日本労働組合総連合会大阪府連合会（連合大阪）  
**HP** <http://www.rengo-osaka.gr.jp/>

日本労働組合総連合会大阪府連合会（連合大阪）は、「エコ・ユニオンー環境にやさしい労働組合」をめざして、環境問題への取り組みを活動方針の大きな柱の1つとして位置づけてきました。

平成26年度は、引き続き連合が全国で展開している「エコライフ21」により各構成組織が独自の取り組みを展開しました。

また、連合大阪では環境行動として、10月に大阪府箕面市にある「連合大阪の森」、再生プロジェクトの一環として、北大阪地域協議会が主体となって取り組みました。また、他地域組織でも、10～11月にかけて、大阪府域一斉環境活動実施日として、森林地帯の環境整備や駅・河川・公園等の清掃活動を実施し、さらにはエコキャップ運動も積極的に展開し、地域社会への啓発を行いました。

平成27年度も、平成26年度の活動を引き続き行っていきます。

連合大阪府域一斉環境活動を中心に行うことに加え、新たに環境に即した取り組みを行っていく予定です。



「連合大阪の森再生プロジェクト」2014/10/25 大阪南港野鳥園 干潟の清掃活動 2014/11/15

<平成26年度に取組を行った重点行動の項目番号> Ⅲ、Ⅴ、その他

<平成27年度に取組を行う重点行動の項目番号> Ⅲ、その他

**団体名** ライオンズクラブ国際協会 335-B地区

**HP** <http://www.lc335b.gr.jp/>

平成26年度は、水辺のクリーンアップ大作戦での清掃活動、リサイクル、エコ活動等、環境への取り組みを、大阪府・和歌山県下174のクラブが様々な活動を行ってまいりました。

平成27年度も、これまでの事業を継続して実施していく予定です。

<平成26年度に取組を行った重点行動の項目番号> I、II、III、V、VI、その他

<平成27年度に取組を行う重点行動の項目番号> I、II、III、V、VI、その他

☆☆ 事業者団体 ☆☆

団体名 公益社団法人 関西経済連合会  
HP <http://www.kankeiren.or.jp/>

平成26年度は、夏の適正冷房・軽装勤務の推進に向けて、昨年に引き続き、協力依頼文の発信、エコポスターの作成、そして希望企業へのエコポスター配付を行いました（結果：希望のあった158社へ2516部のエコポスター配付）。さらには、会員企業・団体さまの自社従業員のご家庭での節電取組みを呼び掛けるために、関西広域連合と連携して「節電チラシ」を作成し、配布を行いました。（結果：希望のあった211社へ13811部を配布）

また、中堅・中小企業の自主的、継続的な環境活動の実践への支援事業を継続して行いました。特に、省エネ促進に向けた組織作りや工程改善、補助金の活用をめざした省エネ実践セミナーを開催しました。セミナー開催時の質疑応答やアンケート結果から、それぞれに対する関心も非常に高く、参考になったという声を多数いただきました。

関西企業の有する環境・エネルギー技術や製品については、当会で作成している「環境・エネルギー技術・製品事例集」を国内外の環境関連のイベント等で配布し、「環境先進地域・関西」をアピールするとともに、同事例集をさらに見やすくリニューアルしました。また、新興国からの視察団等を対象とした「環境」分野のインダストリアルツアープランを取り纏め、関西の環境・エネルギー技術の海外に対するPRに努めております。

（主な取組実績）

- ・夏季の適正冷房・軽装勤務の推進、従業員の家庭における節電要請
- ・中堅・中小企業向け省エネ実践セミナー開催
- ・「環境・エネルギー技術・製品事例集」「インダストリアルツアープラン」を活用した国内外へのPR



省エネ実践セミナー  
平成27年3月23日  
於：ナレッジキャピタル  
関経連会員企業より約60人が参加



環境・エネルギー技術・製品事例集  
平成27年3月改訂  
日本語版、英語版、中国語版の  
3ヶ国語版で発行

平成27年度は、昨年度の取り組み内容の継続を基本にして、他団体と連携しながら、より成果のあがるような取り組みを行う予定です。

（主な取組予定）

- ・関西企業が保有する優れた環境・エネルギー技術・製品による国際貢献の推進（情報発信ツール・機会の整備、活用）
- ・中堅・中小企業の自主的、継続的な環境活動実践への支援
- ・民生部門、業務部門における自主的な環境活動促進のための普及啓発活動

<平成26年度に取組を行った重点行動の項目番号> Ⅲ、その他

<平成27年度に取組を行う重点行動の項目番号> Ⅲ、その他

**団体名** 一般社団法人 関西経済同友会  
**HP** <http://www.kansaidoyukai.or.jp>

(一社)関西経済同友会は、日本の経済社会の諸問題を調査研究し、提言を行うこと、併せて会員相互の交流および経営者としての自己研鑽を行っています。

平成26年度は従来と同様、関西広域連合の活動に積極的に参画しました。同連合の提唱する「夏季の適正冷房と軽装勤務」の取組みとして、適正冷房、軽装などの会員企業等への呼びかけを重視しました。

また、グリーン購入活動の推進などについてもPR啓発活動に取り組みました。

平成27年度も、「夏季の適正冷房と軽装勤務」の取組みとして、適正冷房、軽装などの会員企業等への呼びかけを重視します。また、グリーン購入活動の推進などについてもPR啓発活動に取り組んでいく予定です。

今後は多様な環境問題について自治体や他の経済団体との連携活動をより重視していきます。

<平成26年度に取組を行った重点行動の項目番号> III

<平成27年度に取組を行う重点行動の項目番号> III

**団体名** 大阪商工会議所  
**HP** <http://www.osaka.cci.or.jp/>

大阪商工会議所は、会員企業の環境課題への対応に役立つ事業を様々な形で提供しています。

平成26年度は、環境施策の動向や先進企業の環境経営の事例を10回シリーズで紹介する「環境・CSR研究会」をはじめ、企業に関わる環境・エネルギー情報を広く会員へ情報提供を行いました。

また、経営者、経営幹部や環境部門責任者等を対象に、押さえておくべきと思われる重要な環境法令とその対応ポイントを分かりやすく解説する「持続可能な企業活動のための環境法基礎講座」、夏季・冬季の節電対策にあたり具体的な対策ポイントを解説する「中小事業者のための省エネ・省CO2セミナー」や欧州REACH規則・RoHS指令等の動向を解説する「化学物質規制対応セミナー」を開催するなど、様々な事業で企業の環境対応を支援しました。

#### 【中小事業者のための省エネ・省CO2セミナー】



夏季：平成26年6月20日開催。  
103名が参加。



冬季：平成26年11月27日開催。  
80名が参加。

「夏季の適正冷房と軽装勤務」は5月1日～10月31日にかけて実施しました。適正冷房（28℃）の推進と軽装勤務の奨励は、事務局における実施だけでなく、広報誌「大商ニュース」やHPを利用して会員企業への実施呼びかけ、館内随所にポスターを掲示しPR活動を行いました。

平成27年度も、「環境・CSR研究会」や環境関連のセミナーを通じて企業経営に必要な環境関連情報を提供するほか、「夏期の適正冷房と軽装勤務」なども引き続き実施する予定です。

<平成26年度に取組を行った重点行動の項目番号> III、その他

<平成27年度に取組を行う重点行動の項目番号> III、その他

**団体名** 公益社団法人 大阪府工業協会

**HP** <http://www.opmia.or.jp>

平成26年度は、グリーン購入、スイッチオフ、アイドリングストップの推進について周知する従前の活動に加え、事業者団体ならではの取り組みとして、企業における環境保全活動を支援するための情報提供、あるいは環境対応をポジティブに捉え、ビジネスチャンスにつなげるための勉強会を行いました。その一端を下記に記します。

#### 【省エネルギー対策への支援】

事業所における省エネルギーの推進は、企業の社会的責任として必須のテーマですが、何にどう取り組めば良いかの情報が不足しています。そこで、特に生産部門での省エネの具体的な方策について掘り下げ、研究会形式の情報提供を行いました。

照明、空調、モータ、ポンプ、コンプレッサ、ボイラといった工場内の各設備・機器に的を絞り、費用対効果を含めた省エネ改善の方法を学んでいただくことができました。

#### 【エコカーなど自動車分野の環境技術を紹介】

自動車分野の環境技術は日本が世界をリードする立場にあり、業種を問わず企業の関心が高まっています。そこで、今回は自動車メーカーや部品メーカー、大学から技術解説を聴いたり、実際の生産工場を見学したりといった勉強会を行いました。名称は「次世代自動車テクノロジー研究会」と言い、環境技術の先進性とその用途を具体的に理解していただくことで、今後、中小企業においても自動車の低燃費向上や脱化石燃料化に向けた周辺技術の開発促進が期待されます。

#### 【環境法規制や化学物質管理に関するセミナーを開催】

企業の法令順守のため、環境法令や規制の解説および製品含有化学物質の正しい管理方法を解説するセミナーを開催。実務担当者の知識修得と現状の取り組み内容の見直しを促した。

平成27年度は、協会機関誌による地球環境問題への啓発活動を継続して実施するとともに、環境をテーマとした研究会活動や情報提供が好評だったことから、継続して実施できるものは、内容を工夫して新しい情報を取り入れて実施していきます。

事業者団体として、企業における環境対応を支援することが重要であると考えており、昨今とくに関心の高いエネルギー問題について、省エネルギーおよび創エネルギーの両面から新しい技術情報を発信していきたいと考えています。

<平成26年度に取組を行った重点行動の項目番号> Ⅲ、Ⅳ、その他  
<平成27年度に取組を行う重点行動の項目番号> Ⅲ、Ⅳ、その他

**団体名** 大阪府中小企業団体中央会  
**HP** <http://www.maido.or.jp/index0.html>

大阪府中小企業団体中央会は、中小企業等協同組合法に基づき中小企業団体（協同組合等）を通じて大阪府内の中小企業の振興・発展のために各種支援事業を実施しており、中小企業の環境に関する課題解決への支援等を柱の一つとして位置づけています。

平成26年度は、中小企業向けの環境マネジメントシステムである「エコアクション21」の普及・啓発を行うとともに、「エコアクション21」の地域事務局として昨年の12社に加え5社の認証登録を推進しました。

また、7月に本会役員等により構成する環境対策委員会を開催し環境問題に関する諸課題について研究を行いました。

更に大阪府をはじめとする環境に関する施策等について、本会の機関紙やホームページ、メールマガジン等を活用し、本会会員組合等に対し情報提供を行いました。

平成27年度においても、本会の事業計画の中に中小企業の環境に関する取組みを柱の一つに位置付けるとともに、「エコアクション21」については、引き続き積極的に事業推進します。また、組合単位で実施する環境セミナーや省エネ、節電等の取組み等について専門家等を派遣するなどの支援を実施します。更に、環境に関する施策などの行政情報の提供についても、本会の情報提供システムを活用し、引き続き実施します。

<平成26年度に取組みを行った重点行動の項目番号> Ⅲ、その他

<平成27年度に取組みを行う重点行動の項目番号> Ⅲ、その他



**団体名 近畿百貨店協会**  
**HP**

日本百貨店協会の下部組織として、同協会との事業運営一体化を柱に、「百貨店の環境保全に関する自主行動計画」（日本百貨店協会／2012年3月改定）に基づき、下記の取り組みを推進した。

平成26年度は、

- I. 日本百貨店協会として期初に計画した「政府の国民運動（クールビズ、クールシェア、ウォームビズ、ウォームシェア）への参加」、「環境自主行動計画・低炭素社会実行計画のフォローアップ」、資源循環対策としての「スマートラッピングキャンペーン（第8期目となる業界統一バッグの企画販売）」、「エシカル（環境・社会貢献等）」の各種PR活動等に基づき、当協会会員各店にて取り組みを進めることとした。
- II. 具体的には、会員店において下記の取り組みを進めた。
  - ・業界目標「使用電力量▲10%～15%（2010年度比）程度の削減設定」を掲げ、各社各店に合った節電への取り組みを継続した。
  - ・5月～9月までの5ヶ月間を、百貨店業界の「クールビズ実施期間」として、「節電」をテーマに取り組んだ。実施方法としては、会員百貨店での「冷房温度の緩和や照明の消灯等を中心に実施した。（お客様への周知方法としては、①百貨店統一ポスターとステッカーの掲出、②店内放送による呼びかけ、③レシート等への表示、④新聞・折込みチラシ等における周知、売場販売員の「クールビズスタイル」による呼びかけなど）
  - ・「クールビズ2014・キックオフイベント」を開催した。（近畿地区では、6月3日にあべのハルカス近鉄本店において地区百貨店8社の社員モデルが登場）
  - ・6月12日から業界統一バッグ「スマート・クール・バッグ」（保冷タイプ）の販売を行うとともに、ポスター等による呼びかけ等を強化した。
  - ・日本百貨店協会設置の委員会に当協会会員店が出席し、改正フロン法の説明やエシカルの現況等の講演を聴講した。
  - ・11月～3月まで、ウォームビズ、ウォームシェアへの取り組みを推進した。（業界統一ポスター・ステッカー・店内放送の利用など）
- III. 当協会主催の活動としては、環境問題対策委員会（年2回開催／6月13日、2月3日）を開催し、会員各店における節電対策等の情報交換・共有を図るとともに、先進事例の紹介を行うなど、会員店の環境対策に関する取り組みを促進した。また、御堂筋をクリーンロードにすべくトラック物流の取り組みに積極的な関わりを持ち、同テーマシンポジウムにおいて会員店の取り組み事例紹介を行うとともに、会員店の聴講参加を促した。

平成27年度も、基本的には平成26年度実績をベースに活動を継続します。



団体名 日本チェーンストア協会関西支部

HP <http://www.jcsa.gr.jp/topics/environment/circulating.html>

平成 26 年度はレジ袋の削減の取組として、行政・市民団体と会員各社との協定締結や協働で店頭キャンペーンを実施して啓発に努めました。また、チェーンストア協会全体ではマイバッグの持参率が平成 26 年 11 月度末で 50.7%まで上昇しました。(平成 25 年 12 月末は 49.1%)  
・また、ゴミの減量化・廃棄物の削減の取組として通常の店頭回収品目(ペットボトル、トレイ、缶、牛乳パック)とは別に透明トレーの回収も一部企業で開始しました。また、加盟社によりましてはペットボトルの自動回収機の設置も行っています。



・大阪府下店舗の写真ではございません。大阪府下 4 店舗

・地球温暖化対策として、会員会社において店舗の温度設定の見直しや、照明の LED 化や一部カット等で省エネに取り組ましました。また、電気量監視機器の導入も行っています。新しい電力導入においても加盟社で実施しているところもございます。(太陽光・風力発電)



・大阪府下の店舗写真ではございません。大阪府下 1 店舗

・平成 27 年度は引き続きマイバッグの持参運動を行政・市民団体との協働で実施する予定です。

- ・食品リサイクルの対応として、食品残渣の総発生量の抑制に取り組めます。
- ・地球温暖化対策として、省エネ取組みの継続と設備の更新を実施します。
- ・エコドライブの推進、環境に配慮した車の使用の拡大に取り組めます。

<平成 26 年度に取組を行った重点行動の項目番号> I、II、その他

<平成 27 年度に取組を行う重点行動の項目番号> I、II、III、iv

**団体名 大阪府小売市場総連合会**

**HP**

平成26年度の各項目別の活動状況は、目標どおり達成できました。

○ごみ減量化推進運動として、通年にわたり消費者に協力を呼びかけ、マイバックの持参、包装紙の簡素化を推進した。

○ごみの減量化、リサイクルの推進を図るため、理事会等の会員が集まる会議で環境問題を取り上げ、啓発を行った。

○小売市場周辺路上における違法駐輪の防止を消費者に呼びかけるとともに駐輪場の整理整頓を実施した。

平成27年度は、平成26年度と同様な施策を実施する予定です。

<平成26年度に取組を行った重点行動の項目番号> II、III、その他

<平成27年度に取組を行う重点行動の項目番号> II、III、その他

**団体名 大阪府商店街連合会**

**HP**

平成26年度は、平成26年6月17日の総会において、「豊かな環境づくり大阪行動計画」を配布周知した。

平成27年度は、理事会、役員研修会等において「豊かな環境づくり大阪行動計画」を配布周知する。

<平成26年度に取組を行った重点行動の項目番号> V、その他

<平成27年度に取組を行う重点行動の項目番号> V、その他

団体名 地球環境関西フォーラム  
 HP <http://www.global-kansai.or.jp/top.htm>

平成26年度に実施した活動は、以下の通りです。

○実践・協働活動

- ・ 民生分野における温暖化防止施策の支援  
 平成22年度に設立した、関西うちエコ診断推進協議会の枠組みにおいて、特に診断士のスキルアップを目的としたセミナー、見学会を開催した。
- ・ 第11回「若者によるエコ・メッセージ」ポスターデザイン公募事業の実施  
 応募367作品の中から優秀な作品を選定し、表彰すると共に、新聞や、公共施設等での展示で作品を紹介した。



〈表彰式〉



〈最優秀賞〉  
 「水が足りない」

- ・ 生物多様性保全に関する市民団体等との連携  
 市民団体との共催会合「これからの生物多様性保全活動を考える会」、経団連自然保護協議会との共催による市民団体との交流会等実施した。
- ・ 中国のパートナー組織との交流  
 持続可能な発展に取り組む中国の組織を訪問し、環境技術移転に関する調査を行うとともに、その結果を大阪で開催したワークショップでまとめ報告書とした。

○情報発信・提言

- ・ 地球温暖化対策シンポジウムの開催  
 「再生可能エネルギーと電力系統」をテーマとして実施した。(参加189名)
- ・ 市民に向けた分かりやすい情報発信  
 循環型社会形成に向けたライフスタイルへの変革をめざす市民講座の開催、意識啓発ツールとしての環境マンガの活用、ゴミでアートを制作する環境工作教室の実施。



〈地球温暖化対策シンポジウム〉



〈環境工作教室〉

- ・ 関西の持続可能なまちづくりに関するポータルサイトの構築  
 海外、特にアジアの持続可能なまちづくりに、関西として貢献することなどを目的としたポータルサイトの暫定版を作成した。

- ・社会教育施設での環境教育活性化に資する提言の作成  
「公民館等の社会教育施設での環境教育促進に向けて（提言）」の作成
- ・ホームページ（以下HP）、冊子による情報発信

平成27年度については、平成30年度の弊方の活動終了に向けて、これまでの活動をしめくくる総括プロジェクトを中心に取り組みます。この他、従来から実施している事業も適宜実施いたします。

○総括プロジェクト

少子高齢化・人口減少が進む中、環境への取組みが後退することが懸念される。このため、将来を見通し、関西の社会経済の活性化にもつながる環境への取組み方策を検討する。

- ・3課題（温暖化対策、循環社会形成、生物多様性保全）の総合推進方策の策定
- ・関西における生物多様性理解促進ツールの作成 等

○その他のプロジェクト

- ・地球温暖化対策等に関するシンポジウムの開催
- ・うちエコ診断の普及促進支援
- ・ライフスタイルの変革に資する市民向け情報発信
- ・“若者によるエコ・メッセージ”ポスターデザイン公募事業の実施
- ・地域の生物多様性保全活動への支援
- ・HP、冊子による情報発信 等

<平成26年度に取組を行った重点行動の項目番号> I、II、III、V、その他  
<平成27年度に取組を行う重点行動の項目番号> I、II、III、V、その他

**団体名** 公益財団法人大阪みどりのトラスト協会

**HP** <http://www.ogtrust.jp/>

公益財団法人大阪みどりのトラスト協会は、前身の財団法人大阪みどりのトラスト協会が行ってきた自然環境の保全と都市緑化の諸活動を実施し、大阪府内に残された貴重な自然環境を保全するとともに「緑の募金」運動を通じて市街地の緑化や森林整備を推進し、みどり豊かで快適な環境づくりに寄与することを目的として事業を引き続き実施していきます。

平成26年度は、国の天然記念物でもある和泉葛城山ブナ林の保全活動や大阪府緑地環境保全地域の三草山ゼフィルス森と能勢町地黄湿地について、新たに保全検討会議（地元、ボランティア、学識者、企業、行政で構成）を立ち上げ、保全方法や活動体制の検討を進めるとともに、大阪府自然環境保全地域（5箇所）への保全助成、八尾市神宮寺池のニッポンバラタナゴ等の貴重な自然環境の保全活動や茨木市車作等での里山保全活動、生物多様性保全活動を地元住民、ボランティア団体、企業ボランティアの方々とともに森づくりや生き物調査、自然観察会等を行いました。

「緑の募金」事業では、市街地の緑化活動、里山の森林整備、学校ビオトープづくり等を行うNPOやボランティア等の活動に助成するとともに、教育施設での木の香る快適な学習環境づくりにも助成を行いました。

平成27年度についても引き続き、大阪府と連携した自然環境保全事業として、検討委員会や検討会議での協議を踏まえて「和泉葛城山ブナ林」や「三草山ゼフィルス森」、「能勢町地

黄湿地」において3ヶ年事業計画を樹立し保全活動を実施するとともに、大阪府自然環境保全地域（5箇所）、茨木市車作等での生物多様性保全事業や里山保全事業を、地元住民、ボランティア団体、企業ボランティアの方々の協力を得て生き物調査、自然観察会等を行いつつ実施していきます。

また、当協会の自主事業として、ボランティア登録制度「みどりすと」制度を刷新し、「みどりすと」を軸とした保全活動の推進し、昨年度発足した能勢町域での「能勢みどりすとクラブ」の活動をより自立的なものとするべく支援を行っていきます。

府内唯一の「緑の募金」の指定団体として行う緑の募金事業では、春季（3月1日から5月31日まで）と秋季（9月1日から10月31日まで）の募金キャンペーン期間に募金運動協力団体の協力を得て街頭募金を集中して行うとともに、企業募金、職場募金、学校募金などに取組みます。

また、緑の募金を活用してNPOやボランティア団体、教育機関等が行う市街地の緑化や森林の整備、学校ビオトープづくり、教育施設での木の香る快適な学習環境づくり等への助成を通じて、緑化活動や里山の保全活動等による地球温暖化防止のための府民運動を推進します。

<平成26年度に取組を行った重点行動の項目番号> I、III、V

<平成27年度に取組を行う重点行動の項目番号> I、III、V



いずみの森 里山保全活動



神山棚田の再生活動



三草山ゼフィルスの森保全活動



三草山ゼフィルスの森観察会



車作の森 里山保全活動



団体名 大阪府地球温暖化防止活動推進センター

HP <http://osaka-midori.jp/ondanka-c/>

### (1) 地域活動支援・連携促進事業

地域で活動する団体との協働により、オフィス及び学校等において省エネ診断等を実施し、運用面の改善などによる大阪府域のCO2排出量の抑制や、地域まるごとの省エネ意識の向上を図った。

### (2) 家庭のエコ診断事業

環境省の「家庭エコ診断制度」に基づき、診断実施機関として希望する家庭を対象に、家庭から排出される温室効果ガスを定量化し、太陽光発電の導入、住宅のエコリフォーム、エコ家電の導入、日常のエコ活動などの家庭での取り組みを、温室効果ガスの削減量と対策に必要な費用、投資回収見通しなどを含め提案した。

うちエコ診断士は、平成25年度家庭エコ診断推進基盤整備事業におけるうちエコ診断員認定者19名に加えて、第1回うちエコ診断資格試験に合格した8名を登録し、27名体制により合計229件の診断を行った。



うちエコ診断(会場診断の様子)

### (3) カーボン・オフセットの推進

カーボン・オフセットの創出・活用を促進するため、近畿地域カーボン・オフセット推進ネットワーク(近畿J-クレジット等推進協議会)を活用し、近畿地域におけるNPOや中小事業者等の商品やイベント等をカーボン・オフセットすることにより、地域振興や温暖化対策に貢献する取組を推進した。

あわせて、中小事業者の排出削減シーズの掘り起こしや、様々なカーボン・オフセット事業について検討するなど、J-クレジット等の需要創出を図った。



大阪府と連携したカーボン・オフセットイベント  
「あなたとみんなのみどりのシンポジウム」

カーボン・オフセット実践用手引書  
「だれでもできるカーボン・オフセット手引書」

#### (4) 大阪府等との連携

構成員、委員及び事務局の担当として参画することにより地域協議会事業に協力した。特に、「大阪府省エネ外食店舗普及推進協議会」では、環境省の補助金を活用して実施した外食店舗等における照明設備、空調・冷蔵・冷凍設備等の省エネ型機器への更新の効果把握調査などを支援した。

#### (5) 民間団体等における地球温暖化防止活動支援

(フードマイレージ・自然エネルギーをテーマとした温暖化防止活動の実践)

地球温暖化防止活動推進員のチーム(チームフードマイレージ)が、他団体と連携して作成したフードマイレージ学習教材を用いて、府民のフードマイレージへの理解を高め、買い物に係る自転車や公共交通機関の利用を促進する啓発活動を支援した。

また、同推進員のチーム(自然エネルギー推進チーム)が、大阪府和泉市の農業用水路において小水力発電機を設置し、自然エネルギーの理解を高める啓発活動を支援した。

#### (6) 地域での地球温暖化防止活動基盤形成事業

- ・大阪府温暖化防止活動連絡調整会議の設置と開催運営
- ・日常生活での温室効果ガス排出抑制のための相談、助言、排出実態把握、分析
- ・推進員との連携、調査及び啓発、広報
- ・地域における地球温暖化対策の現状、推進状況に関する啓発広報等
- ・民間団体等における地球温暖化防止活動の実態把握及び活動支援



泉大津市と連携した出前講座



イベント出展による啓発



大阪 eco 動物海洋専門学校と連携した幼児期からの環境教育

●平成27年度の活動予定

(1) 地域活動支援・連携促進事業

NPOを事業主体として、学校、企業、地球温暖化防止活動推進員等を構成員とするコンソーシアムを設置し、オフィス及び学校等において省エネ診断等を実施し、運用面の改善など効果的な対策を提案することにより、大阪府域のCO2排出量を抑制する。

(2) 家庭のエコ診断事業

診断を希望する家庭を対象に、家庭から排出される温室効果ガスを定量化し、太陽光発電の導入、住宅のエコリフォーム、エコ家電の導入、日常のエコ活動などの取り組みを、温室効果ガスの削減量と対策に必要な費用、投資回収見通しなどを含め提案する。

(3) カーボン・オフセットの推進

大阪府や大阪市、大阪商工会議所、地域センター等関係団体で構成される近畿J-クレジット等推進協議会により、カーボン・オフセット制度を推進する。

環境省の環境貢献型商品の開発・販売促進への支援事業を活用し、商品代金の一部を環境貢献に役立てるカーボン・オフセット商品の企画立案・開発支援を行う。

また、大阪府や府内市町村等において、カーボン・オフセットイベントの開催を支援することでカーボン・オフセット制度の普及に努める。

(4) 民間団体等における地球温暖化防止活動支援

(フードマイレージ・自然エネルギーをテーマとした温暖化防止活動の実践)

地球温暖化防止活動推進員のチーム活動(チームフードマイレージ)が、他団体と連携して作成したフードマイレージ学習教材を用いて、府民のフードマイレージへの理解を高め、買い物に係る自転車や公共交通機関の利用を促進する啓発活動を支援する。

また、同推進員のチーム活動(自然エネルギー推進チーム)が、大阪府和泉市の農業用水路において小水力発電機を設置し、自然エネルギーの理解を高める啓発活動を支援する。

(5) 地域での地球温暖化防止活動基盤形成事業

大阪府域の地球温暖化防止活動の基盤形成を図るため、推進員や民間団体等と連携して、出前講座や環境イベントの開催、日常生活における排出実態調査で得た情報の提供や電力の見える化設備の貸出しなどにより、家庭内での省エネ・節電行動を促進する。

<平成26年度に取組を行った重点行動の項目番号> III、IV

<平成27年度に取組を行う重点行動の項目番号> III、IV



【平成 26 年度活動報告】

大阪自動車環境対策推進会議では、大阪における大気汚染や騒音等の自動車公害防止に関する対策とともに、自動車に係る地球温暖化対策について、官民が一体となって、総合的な施策を積極的に推進しています。

平成 26 年度は、事業者におけるエコカーの使用やエコドライブ、公共交通機関の利用を促す「おおさか交通エコチャレンジ推進運動」（平成 23 年 8 月創設）及び「おおさか交通エコチャレンジ賞」の選考・表彰を引き続き推進しました。

また、おおさか交通エコチャレンジ推進事業者を対象に「ふんわりアクセル」や「早めのアクセルオフ」などのエコドライブのアクセル操作を簡単に体験できるエコドライブシミュレーターを利用した講習会を実施しました。あわせて、市町村が実施する啓発イベントなどでエコドライブシミュレーターを貸し出し、市町村事業の支援を行いました。

さらに、普及啓発の一環として、平成 26 年 6 月には大阪府・大阪市等主催の「知ろう！学ぼう！大阪南港エコフェスタ」、平成 27 年 2 月には、堺市教育委員会主催の「サカイエンス 2015」に出展し、民間企業との連携のもと、ECO カードの作成やハイブリッドカー工作教室等の催しを実施しました。

そのほか、自動車排出ガス等街頭検査、国や自動車メーカー等との意見・情報交換、リーフレット・カードによるエコカーの普及促進及びエコドライブの推進の取組みを行いました。



エコドライブシミュレーター  
体験講習



サカイエンス 2015 でのハイブリッド  
カー工作教室

【平成 27 年度活動方針】

平成 27 年度は「おおさか交通エコチャレンジ推進運動」を実施するとともに、エコカーの普及、流入車規制及び公共交通機関の利用促進等について、ポスター、リーフレット、構成機関の広報誌及びイベント等を通じて事業者や府民に対する啓発を行うなど、引き続き、構成機関と連携し自動車利用に関する環境配慮を推進します。

<平成 26 年度に取組を行った重点行動の項目番号> IV、その他

<平成 27 年度に取組を行う重点行動の項目番号> IV、その他

団体名 大阪美しい景観づくり推進会議

H P [http://www.pref.osaka.lg.jp/kenshi\\_kikaku/keikan-ustukushii/suishinkaigi.html](http://www.pref.osaka.lg.jp/kenshi_kikaku/keikan-ustukushii/suishinkaigi.html)

平成26年度は、参画団体の取り組み内容の情報発信、景観づくり研修会の開催により、広く府民や事業者等との協働を進めながら、景観づくり活動を推進してきました。

また、大阪府内にある美しいまちなみを改めて見つめなおし、守り育てるため、また、広く知ってもらうため、府民投票等より平成18年度に選定した「大阪まちなみ百景」について、スマートフォンのアプリ「ふらっと案内」で見ることができる「大阪ミュージアムモバイルガイド」内の「建物まちなみモバイルガイド」にて昨年度に引き続き情報発信しています。

事務局では、グリーン購入推進運動やスイッチオフ推進運動に取り組むとともに、参画団体に対しても共通行動の実践を呼びかけています。



H26 年度総会



H26 年度景観づくり研修会

平成27年度もより一層、府民・事業者・行政の協働による景観づくりを推進するとともに、より実効性あるものとして推進していくため、積極的な情報発信に努め、「美しい世界都市大阪」の実現を目指します。

また、参画団体の活動をさらに充実したものへとするためにも、現在まで行ってきた、大阪美しいまちづくりニュースの発行や参画団体の取り組み内容の情報発信、景観づくり研修会の開催、「大阪まちなみ百景」の活用等の取り組みについて、平成27年度はこれらの活動内容についてより良い活動としていくための検討を行っていく。

さらに、今後の活動についての意見交換や共通の問題意識等を抱えた団体の意見交換等の場を積極的に設け、参画団体にとって充実した活動内容としていく。

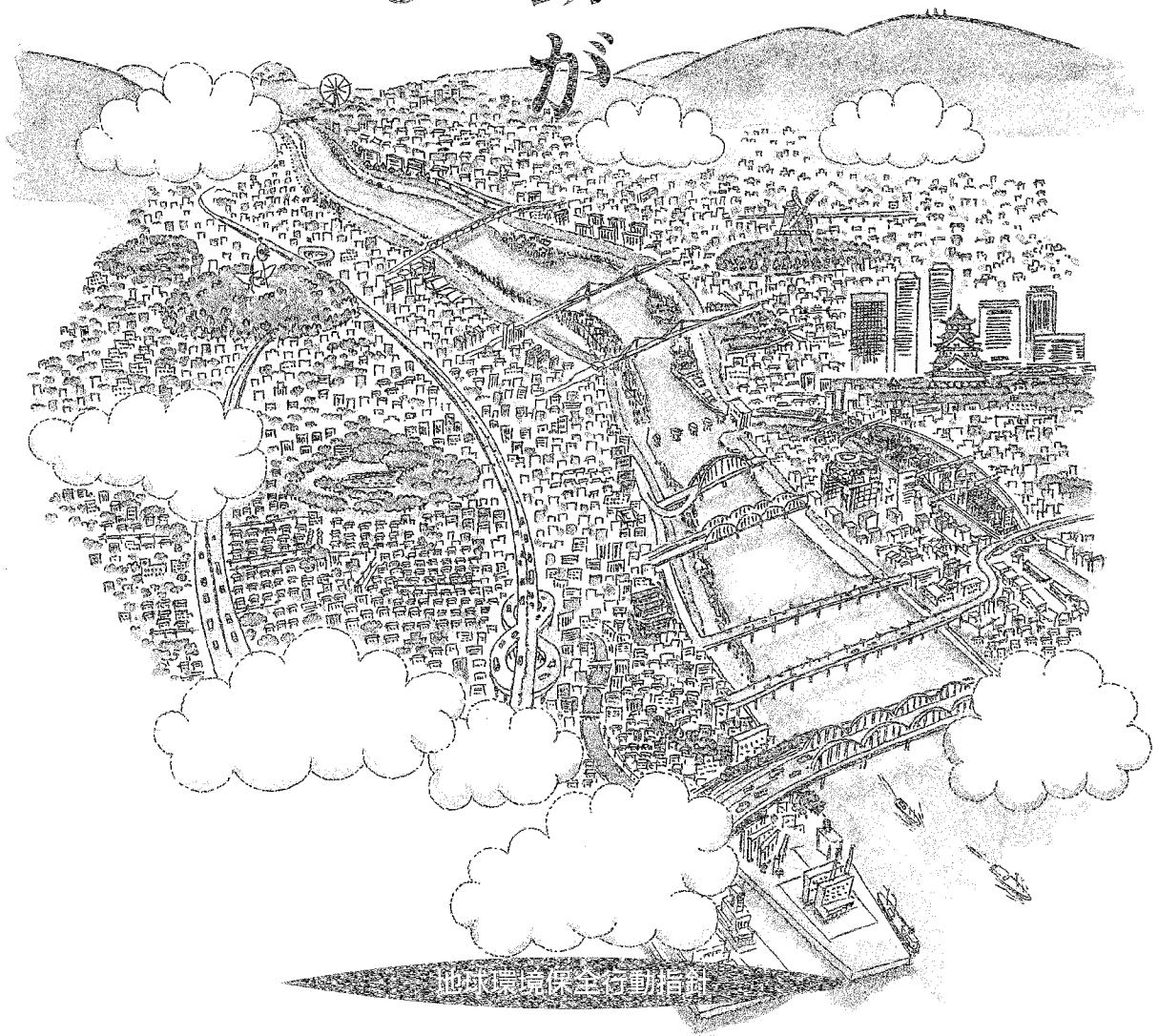
事務局では、引き続きグリーン購入推進運動やスイッチオフ推進運動に取り組むとともに、参画団体に対しても共通行動の実践を呼びかけていきます。

<平成26年度に取組を行った重点行動の項目番号> I、II、III、その他

<平成27年度に取組を行う重点行動の項目番号> I、II、III、その他

# 【資料編】

身近な環境  
愛する心と行動が  
地球環境を守る



## はじめに

あふれるような緑、鳥やトンボたちが自由に青い空を舞い、きれいな川には魚が泳いでいる、多くの生命が輝いている環境。それは、私たち人間にとっても、心地よい豊かな環境です。大都市に生活する私たちも多くの生物の一員であり、自然の微妙なバランスの中で生きているからです。

私たち人間は豊かな自然の仕組みを上手に利用することによって、暮らし、活動してきました。大阪は、そんな人々の営みの長い歴史を通して発展してきたまちです。

大阪ではこの100年の間に急激に都市化が進み、便利で快適な生活に、私たちは大きな自然の恵みの中で生きていることを忘れがちになっています。そして、大量にモノが生産・消費され、ゴミとなって廃棄されるなど、私たちのいろいろな活動が、かけがえのない地球の環境を壊しはじめています。

以前、身近に見かけたメダカやトンボ、カエルが、今ではあまり姿を見せなくなっています。きれいになったようにみえる川も、川底が汚れていたり、川に住む生き物が産卵する場所やエサになる生物がみつからないなど、生息しにくい環境になっているのです。そして、多くの生命を育む緑も減ってきています。

でも、淀川では、ワンドにいる魚や渡り鳥、風にそよぐヨシ原をみつけることができます。そして、秋には美しく彩られる山もあります。

私たちが受け継いだ自然の恵みを子どもたちに伝えていくために、もっと、身近な環境を愛する美しいまちにするために、まちや暮らしを自分の感覚で感じてみませんか。

そして、豊かな環境を実現し、美しい地球を守るために、大阪人らしい合理的な精神と具体的な行動で、できることから始めてみませんか。

## 歩く、みる、感じることから始めませんか。

身近なところを歩いたり、みたり、感じたりしてみませんか。そして、日々の生活をみつめてみませんか。

「環境問題なんて自分とは関係ない、自分一人で考えてもしかたがない」と、

思われるかもしれませんが、でも、ほんとうにそうなのでしょうか。

自分のいるまちや、身近な自然がもっと良くなれば、という思いはだれもがもっているはずですよ。

もっと、良くするために、もう一度、身のまわりのようすや自分の暮らしぶりなど、

身近なことから振り返って、そして、みんなで考えてみませんか。

まず、自分の眼でみて、自分の感覚で、感じることから始めてみませんか。

あなたのいる  
まちをゆっくりと  
歩いてみませんか

- 家や職場のまわりを観察してみませんか
- まちの中をゆっくり歩いてみませんか
- 夜空を眺めてみませんか

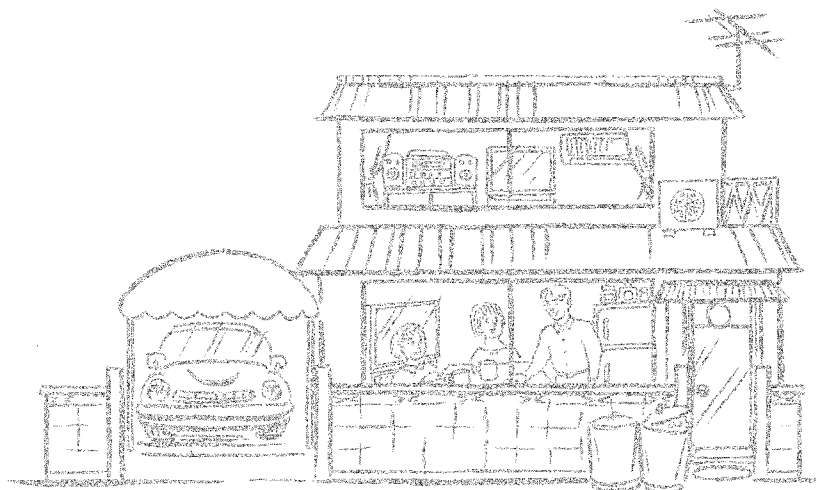
身近な自然に  
ふれてみませんか

- 近くの川や池、海に行ってみませんか
- 周辺の野山をハイキングしてみませんか

暮らしや  
行動スタイルを  
みつめてみませんか

- 便利で快適な生活をみつめてみませんか
- 自らの行動スタイルをみつめてみませんか

あなたのまちや、身近な自然、  
暮らしや行動スタイルを、  
少し視点を変えて眺めてみませんか。



## 身近な環境はどのようにみえますか。 暮らしや行動スタイルはどうですか。

見なれたまちや公園、いつもどおりの生活。  
でも、少し気分や視点を変えて身のまわりのようすをみると、  
いろんな新しい発見や疑問がでてくるのではないのでしょうか。  
知らず知らずに見過ごしていることはないですか。

### あなたのいる まちはどうですか

- 街なみや家なみはどうですか
- 並木道や生け垣はありますか
- 電柱や看板はどうですか
- 交通渋滞や不法駐車はありますか
- ゴミや空き缶が落ちていませんか
- においや音はどうですか
- 星座はいくつみえますか

### 身近な自然は どうですか

- 近くの公園や野原はどうですか
- 畑や田んぼのあぜ道、水路はどうですか
- 近くの山や森は秋に色づきますか
- トンボやチョウ、ホタルはみつけられますか
- どんな鳥や魚がいますか
- 川や池のそばに近づくことができますか
- 川や海の色は何色ですか
- 自然の砂浜や磯はありますか

私たちはいろんなことでまわりの環境に影響を与えています。  
例えば、何気なく使っているモノでも、それを作るとき、運ぶとき、  
捨てるときにおきるいろんなことを考えてみましょう。

### 暮らしや 行動スタイルは どうですか

- モノやエネルギー、水を大切に使っていますか
- 近くへ行くのに自動車を使っていませんか
- ゴミにならないモノ、環境にやさしい商品を選んで買っていますか
- 資源の回収やリサイクルをしていますか
- 適正な包装にしていますか
- 油を直接、台所の流しに捨てていませんか
- 環境にやさしい製品づくりやサービスをしていますか
- 環境にやさしい活動に参加していますか
- 環境教育などに取り組んでいますか

（何か新しい発見や疑問がありましたか。  
どのように感じましたか。）





## どうあればいいと思いますか。

子どものころや昔のようす、いろんなまちや自然のようす、  
思い出したり、くらべてみるうちに、  
「まちや身近な自然がこうだったらいいな」、「これから、こんなことを始めよう」など、  
いろんな思いに気付く人が多いのではないのでしょうか。

### こんなまち だったら

- 気持ちのいい美しいまち
- もう少しゆとりのあるまち
- 人に迷惑をかけないまち
- .....
- .....

### こんな身近な 自然だったら

- 小さな自然の営みを感じられたら
- 美しく変化する自然の姿を楽しめたら
- 自然のやすらぎを感じられたら
- .....
- .....

### こんな暮らしや 行動スタイル だったら

- モノや水、エネルギーをもっと節約できたら
- ゴミを減らしたり、リサイクルがもっとできたら
- 環境にいいことをみんなで考えたり、始められたら
- .....
- .....

あなたの思いに少しでも近づくために、  
何ができるか、どうしたらできるか考えてみませんか。  
できることから始めてみませんか。





## 私たちはこんなことに取り組んでいます。

環境を良くするために、いろんな取り組みが始まっています。

私たちが取り組んでいる環境にやさしい行動を中心にまとめてみました。

### 美しいまちづくりを進めています

- 近くの公園の掃除をしています
- 空き缶を拾い集めています
- 捨てられた自動車の問題について調べています
- 違法駐車をなくすよう取り組んでいます
- 自動車使用の合理化を呼びかけています
- 美しい景観づくりを進める運動をしています

### 自然を大切にしています

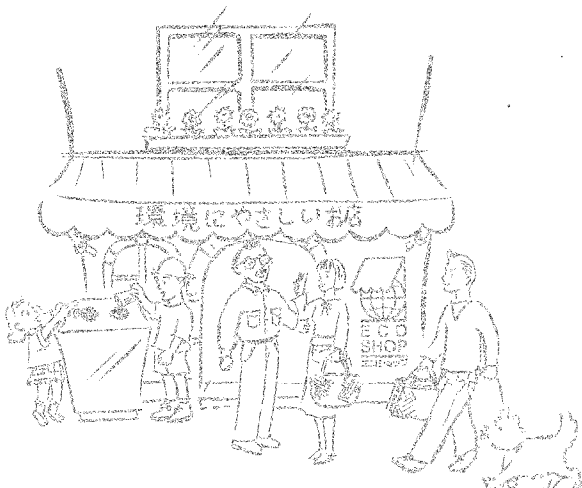
- 花や緑を植えています
- 野鳥の観察など野外で自然への理解を深めています
- プナ林や貴重なチョウを守るためにトラスト運動を進めています
- 貴重な自然を守るために、データの収集をしています
- 河川浄化のための活動を進めています
- 環境にやさしい農業に取り組んでいます

### 暮らしや行動スタイルをみなおしています

- 古紙回収などのリサイクルを実践しています
- 包装紙・トレイなどのゴミ問題に取り組んでいます
- 簡易包装を進めています
- 再生品の利用を進めています
- 節水や節電を進めています
- エコマーク商品や低公害車の購入を進めています
- 環境にやさしい商品を販売するエコショップを展開しています
- 社内で環境管理や環境監査に取り組んでいます

### 行動の輪を広げています

- 取り組みや調査結果をレポートし配付しています
- シンポジウムの開催など啓発活動をしています
- 子どもたちが遊びを通じて環境を学習できる機会をつくっています
- 環境教育の指導者育成や従業員教育をしています
- 情報交換をしています
- 草の根レベルの活動を支援しています
- 地域の活動と連携しています
- 国際的な交流や協力などに取り組んでいます



いろいろなことを、もっとたくさんしていきたいのです。

「まちや自然、暮らしや行動スタイルがこうだったら」

との思いを実現するために、

みんなと一緒に取り組んでいきませんか。

## みんなて取り組んでいきませんか。

一人でもできることがあります。

例えば、環境を考えた日常の買い物や生活の仕方などです。

そして、さらにみんなて取り組んでいけば、

もっとたくさんの方ができるとは思いませんか。

### 自分の身のまわりでは

- これからやりたいこと、やって欲しいことを話しあいませんか
- 身のまわりのこと、みんなてできることを考えてみませんか
- それぞれのできることを、お互いに協力しながらみんなて取り組みませんか
- もっと多くの人に参加することの楽しさを伝えてみませんか
- いろいろな行事に気軽に参加してみませんか
- いろいろな情報を広めてみませんか
- どれだけできたか、話し合ってみませんか
- 取り組んできたこと、集めた情報を将来の世代に伝えませんか

### お店や会社などでは

- 環境にやさしいサービスや商品になっているか調べてみませんか
- 生産から廃棄まで、環境にやさしい製品とは何か考えてみませんか
- 環境にやさしいサービスや製品づくりで実現できることは、すぐに実行しませんか
- 連携したらできることは、一緒に取り組みませんか
- 地域の一員として環境保全活動に参加しませんか
- 取り組んでいる環境保全活動をPRしませんか
- どれだけできたかを調べて、もっとできるように考えてみませんか
- 環境を大切にするお店や会社になれるような体制にしませんか

### 地域づくりでは

- 地域の人が、どのような環境を求めているか調べてみませんか
- 環境にやさしい地域がどうしたらできるか考えてみませんか
- 環境にやさしい地域づくりを進めませんか
- みんながもっと取り組めるよう情報を広めませんか
- 環境学習や教育、啓発を進めませんか
- 地域活動やエコビジネスを支援しませんか
- どれだけできたかを調べて、もっとできるように考えてみませんか
- 環境にやさしい地域づくりができる体制やルールをつくりませんか

（テーマを毎年決めて、お年寄りも障害を持つ人も  
子どもたちも一緒になって  
みんなて取り組んでいきませんか。）

## 行動の輪を広げませんか。

取り組みの輪を大阪全体に広げてみませんか。

私たちの日々の生活は日本中の、そして世界中の人と資源によって支えられています。

そして、私たちの環境も、他の地域や世界と密接に関係しています。

日本中の、そして世界中の人の暮らしや環境も、大阪と同じように大切なものです。

それぞれができることを、お互いに協力しながら取り組んでみませんか。

### 取り組みの輪を 大阪全体へ 広げてみませんか

- 地域の人やお店や会社、グループが一緒になって取り組んでみませんか
- 取り組みの輪を、地域から市町村全体に、そして大阪府全域に広げてみませんか
- いろいろな取り組みを一つの大きな力にして、豊かな環境都市大阪をつくっていきませんか

### さらに、日本中の、 世界中の人と 取り組んで みませんか

- 日本中の、世界中の人がどんな取り組みをしているか学んでみませんか
- 大阪でやっていることを知ってもらいませんか
- 協力してできることは何か考えてみませんか
- それぞれのできることを、お互い協力しながら取り組んでみませんか

（ いろんな地域や国々の人、グループ、企業、自治体との出会いでは、まず相手のことを知り、自分たちのことを知ってもらうことが第一歩です。その中から、新たな輪を広げていきませんか。 ）

身近な信頼を要する心と行動。その輪の広がりや地球環境を守る



## みんなの行動が地球環境を守ります。

「お月さんが笠をかぶると明日は雨」、「なすびの豊作は稲の豊作」、「木のてっぺんの柿は鳥の神さんに」。かつて日本では、いろいろないいつたえやことわざで自然の仕組みを教え、人々は自然の循環を上手に利用することで豊かな自然と共に暮らしてきました。そして、モノの命を大事にし、恵み深い自然、恐ろしい自然を日々の生活に感じていました。

現在の私たちは、どうでしょうか。何気なく読んでいる新聞や雑誌、おいしくいただいている食事、快適なドライブ。豊かな生活を支えるための生産活動や流通。それらに使う資源やエネルギーの多くは、世界中から大坂に集められたものです。

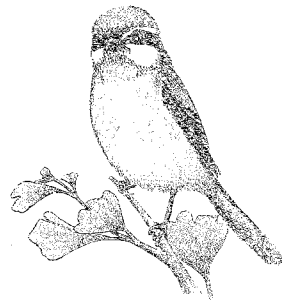
何気なく送っている生活や活動によって、世界の人々の暮らしや、森林や海動物などの生命に大きな影響を及ぼすだけでなく、将来の世代にも影響を与えると心配されています。昔の生活で大切にされていたもの、時間のゆとりや自然の豊かさ、人間関係の細やかさ、そういうことが、本来の豊かな生活だということを、もう一度、思いなおしてみませんか。今までどおりの生活を送っているのは、私たち人間が生活できる地球ではなくなるかもしれません。

身近な環境を、自分の眼でみて、感じる。暮らしや行動スタイルをみつめる。そして、新しい発見や疑問に気付くことで、環境を良くしていくために、暮らしや行動について、できることから具体的に取り組みを始めていく。そんな、小さな取り組みが積み重なって大きな力となり、地球環境を守ることになると考えています。

————— 小さな行動の一つひとつから地球にやさしい 環境都市・大坂 —————  
————— 身近な環境を愛する心と行動 その輪の広がりか地球環境を守る —————  
————— 限られた地球 その豊かさを引き継ぐ美意識 シンプルライフ —————

私たちは、今後、この行動指針をもとに目標を決め、  
その実現のために具体的な行動計画をつくって、  
実践的な取り組みを始めていきます。

みんなで取り組みませんか。



豊かな環境づくり大阪府民会議

# 大阪 21 世紀の新環境総合計画（概要）

## ■計画の位置づけ

豊かな環境の保全及び創造に関する施策を総合的かつ計画的に推進するため、環境基本条例に基づき策定するもの。また、大阪府の 2025 年の将来の姿を現した「将来ビジョン・大阪」に示された「水とみどり豊かな新エネルギー都市」実現の道筋を具体化し、広く大阪府の環境施策に関する基本方針や具体的手順を示すもの。

## ◇大阪府の環境を取り巻く課題

### 地球温暖化の防止

世界の温室効果ガスの排出量は、工業化以降、人の活動により増加しており、そのまま放置すると、世界の気候システムに多くの変化が引き起こされる可能性があるとして報告されている。高度に都市化が進み、様々な産業が集積している大阪からは、温室効果ガスが多く排出されている。

### 資源の循環的利用

わたしたちの暮らしを支えている鉱物・石油などの天然資源は有限である。人口の集中する大阪では、多くの資源が消費されており、家庭や事業場から出る廃棄物は、リサイクルや減量化された後、大阪湾に設けられた処分場等に最終処分されているが、その容量には限界がある。

### 生物多様性の保全

人の活動の影響等により、多くの生き物が絶滅の危機に瀕しており、生物多様性の保全が課題となっている。大阪では都市化の進展等によって良好な生息環境が損なわれ、人と自然のつながりも希薄になっている。

### 健康的な暮らしの確保

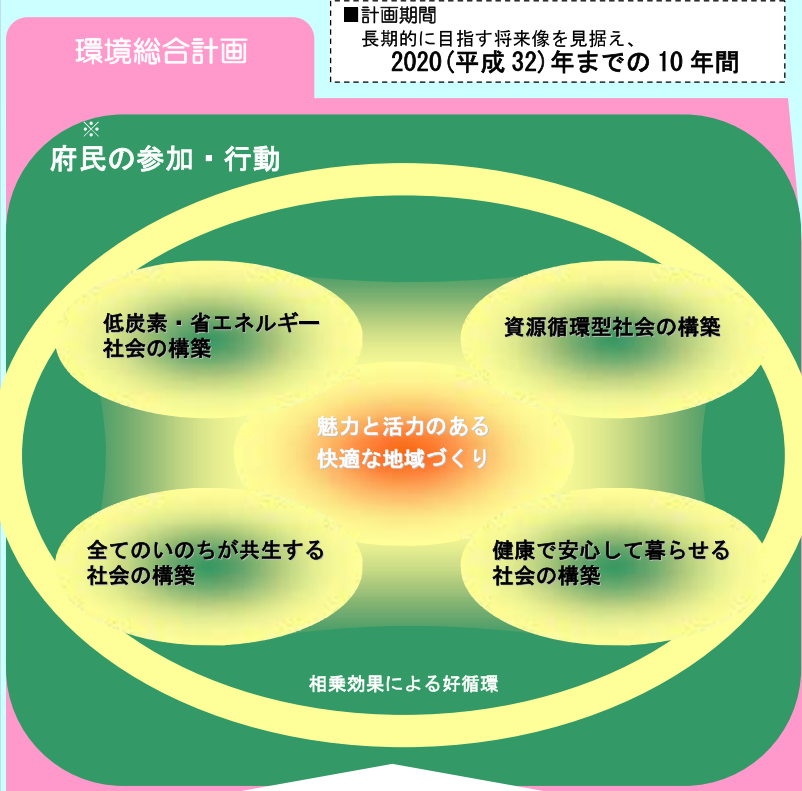
大気環境や水環境は改善が進んでいるが、光化学オキシダントや大阪湾の水質など、環境保全目標の達成が困難な項目もある。

また、事業活動や日常生活の中で、様々な化学物質が製造され、使用されており、環境や人への影響が懸念されるものもある。

### 魅力と活力ある快適な地域づくり

大阪は、多くの人々が住み、働き、訪れる地域であるが、ヒートアイランド現象、騒音・振動等の都市特有の問題や、「みどりが少ない」、「雑然としている」などマイナスイメージがある。

## ◇計画の全体構成（施策展開のイメージ）と将来像



### 施策推進に当たっての視点

- ・ 環境と成長の両立に向け、あらゆる分野への環境の視点の組み込み
- ・ 地域主権の確立・広域連携の推進

## 計画の効果的、効率的な推進

※「府民」とは大阪府に住む人だけでなく大阪府に関わる全ての人を指す。

## 分野ごとの長期的将来像 (概ね 2050 年頃)

目指すべき将来像

※府民がつくる暮らしやすい、環境・エネルギー先進都市

**低炭素・省エネルギー**

建物の高断熱化や機器の省エネ・省CO<sub>2</sub>化が飛躍的に進み、再生可能エネルギーやCO<sub>2</sub>排出量の少ない自動車が多く普及しているなど、温室効果ガスの排出量が1990年度から80%削減されている。

**資源循環**

資源の循環的な利用が自律的に進む社会が構築され、廃棄物の排出量が最小限に抑えられている。また、生じた廃棄物はほぼ全量が再生原料として使用され、製品として購入されることによって循環し、最終処分量も必要最小限となっている。

**全てのいのちが共生**

生物多様性への人々の理解が進み、生物多様性に配慮した行動によって、豊かな森林、農空間、里地・里山、河川、海等が維持されている。また、生息環境を回復するための取組みが各地で行われた結果、大阪は身近に生き物と触れ合える、水とみどり豊かな都市となっている。

**健康で安心して暮らせる**

環境保全目標を全て満足し、澄みわたる空、深呼吸しなくなる大気となっている。  
人の健康が保全されるとともに豊かな生態系が育まれ、身近に人と水がふれあえ、生活に潤いをあたえる水環境となっている。  
環境リスクの高い化学物質の排出削減が進むとともに、リスク管理やリスクコミュニケーションが定着し、化学物質によるリスクが最小化されている。

**魅力と活力ある快適な地域**

ヒートアイランド現象が緩和されるなど、快適な生活環境が確保された、みどりが多く、豊かな水辺や歴史・文化が活かされた、「暮らしやすい」「働きやすい」「訪れたくなる」都市となっている。

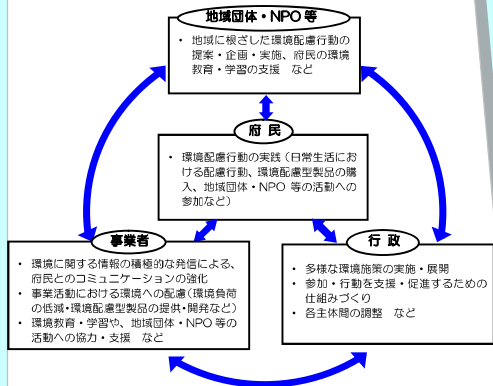
53



# ◇分野ごとの目標と施策の取組方針

## 府民の参加・行動

### 将来イメージ



- 府民、地域団体・NPO、事業者、行政等の各主体が積極的に参加し、自ら行動する社会
- 各主体が相互に連携して行動することにより、相乗的な効果が発揮されている社会

### 施策の方向

- あらゆる主体が日常的に環境配慮行動に取り組む社会の実現を目指し、環境問題への気付きの促進と環境配慮行動の拡大に向けた取組みを進める。
  - 効果的な情報発信
  - 環境教育・学習の推進
  - 行動を支援する仕組みの充実

魅力と活力ある  
快適な地域

### 2020年度目標（府民に分かりやすく、進捗状況が確認しやすい）

#### ●国の取組みと連動し、1990年度比で25%の温室効果ガス排出量を削減

- ・府域で保有される自動車のうちエコカーの割合を50%に増やす。
- ・府域の太陽光発電の導入によるCO<sub>2</sub>削減量を2009年度比で30倍以上に増やす。

#### ●資源の循環をさらに促進

- ・一般廃棄物 リサイクル率を倍増させる。
- ・産業廃棄物 最終処分量をさらに削減する。
- リサイクル社会を実現するための府民行動を拡大
  - ・リサイクル製品を購入している府民の割合を倍増させる。
  - ・資源物を分別している府民の割合を概ね100%にする。

#### ●生物多様性の府民認知度を70%以上に ●生物多様性の損失を止める行動を拡大

- ・活動する府民を30%増加する。
- ・保安林、鳥獣保護区等の地域指定を新たに約2000ha拡大する。

#### ●大気環境をさらに改善

- ・二酸化窒素の年平均値0.06ppm以下を確実に達成すると共に、0.04ppm以上の地域を改善する。
- ・微小粒子状物質(PM2.5)の環境保全目標を達成する。
- ・光化学オキシダント濃度0.12ppm(注意報発令レベル)未満を目指す。

#### ●人と水がふれあえ、水道水源となりうる水質を し、水環境をさらに改善

- ・BOD(生物化学的酸素要求量)3mg/L以下(環境保全目標のB類型)を満たす河川の割合を8割にする。

#### ●多様な生物が棲む、豊かな大阪湾にする。

- ・底層D0(溶存酸素量)5mg/L(湾奥部は3mg/L)以上を達成する。
- ・藻場を造成(藻場面積を400haを目指す)する。

#### ●環境リスクの高い化学物質の排出量を2010年度より削減

#### ●快適な生活環境が確保された「暮らしやすい」、「働きやすい」、「訪れたい」都市を目指す。

- みどり豊かな自然環境の保全・再生 みどりの風を感じるネットワークの形成 街の中に多様なみどりを創出 みどりの行動の促進
- ヒートアイランド現象の緩和
- 騒音・振動の防止
- 魅力ある景観の形成 歴史的・文化的環境の形成

### 施策の方向

#### ●あらゆる要素に「低炭素」の観点を組み入れて、低炭素化に向けた効果的な取組みを促進

- 産業・業務、住宅・建築物、運輸・交通の低炭素化
- 再生可能エネルギー等の普及
- 森林整備によるCO<sub>2</sub>吸収の促進

#### ●生産・流通、消費、再生・処理、最終処分各段階における資源の循環に向けた取組みを促進

- 再生原料・再生可能資源の利用促進
- 廃棄物排出量の削減
- リサイクル率の向上
- 最終処分量の削減
- 廃棄物の適正処理の徹底

#### ●生物多様性についての府民理解を促進し、生物の生息環境の保全と回復への行動を促進

- 生物多様性の重要性の理解促進
- 生物多様性に配慮した行動促進
- 府民と連携したモニタリング体制の構築
- 生物多様性保全に資する地域指定の拡大
- エコロジカルネットワークの構築推進

#### ●自動車排出ガス対策や工場等の固定発生源対策を推進

- 自動車から排出される窒素酸化物(NOx)と粒子状物質(PM)の削減対策の推進
- 微小粒子状物質(PM2.5)の現状把握と対策の検討・実施
- 揮発性有機化合物(VOC)の排出削減
- 建築物の解体工事に伴うアスベストの飛散防止対策の徹底

#### ●流域の特性に応じた水質、水量、水生生物、水辺等を総合的に捉えて対策を推進

- 生活排水の100%適正処理を目指した生活排水処理対策の促進や総量規制等の工場・事業場排水対策の推進
- 健全な水循環の保全・再生
- 大阪湾の環境改善対策の推進

#### ●環境リスクの高い化学物質の排出削減や、予防的取組みの推進、様々な主体の環境リスクについての理解促進

- 環境リスクの高い化学物質の排出削減
- 化学物質に関するリスクコミュニケーションの推進
- 残留性有機汚染物質や汚染土壌等の適正管理・処理

## ◇施策推進に当たっての視点

- あらゆる分野への環境の視点の組み込み（都市構造、金融・産業など）
- 地域主権・広域連携の推進（広域連携・関西広域連合での取組み推進、市町村への権限移譲の推進など）

## ◇施策の効率性・効果的推進

- 複数年分の成果を評価するサイクルを追加
- 可能な限り得られた効果を数値化
- 評価資料の府民への公表及び意見募集

大阪府及び市町村の環境保全に係る取組状況

	環境管理計画等の主要な目標値及び実績							
	年度	温室効果ガス排出削減目標	電気使用量	灯油使用量	ガス使用量	ガソリン使用量	その他	
大阪府	目標	26	対23年度比3%削減(下水道以外:排出量ベース、下水道:原単位ベース)	-	-	-	-	-
	実績	25	下水道以外:対23年度比6.4%削減(125,101t-CO2) 下水道:対23年度比3.7%削減(3,0039)	572,167,777kWh	3,452,757ℓ	12,077,644m <sup>3</sup>	6,803,793ℓ	-
大阪市	目標	27	基準年度(H21年度)に比べ9%削減(298,329t)	575,902,432kWh	833,120L	16,296,439m <sup>3</sup>	1,085,176L	軽油 1,226,818L
	目標	25	基準年度(H21年度)に比べ6.0%削減(308,163t)	594,888,227kWh	860,585L	16,833,684m <sup>3</sup>	1,120,950L	軽油 1,267,262L
	実績	25	対21年度実績比4.6%減(312,563t)	592,871,481kWh	408,714L	19,342,943m <sup>3</sup>	1,240,582L	軽油 1,333,859L
堺市	目標	32	基準年度(H2年度)に比べ30%削減(171,000t)	-	-	-	-	-
	実績	25	203,919t	142,866千kWh	106ℓ	5,259千m <sup>3</sup>	504ℓ	熱 24,777千MJ
岸和田市	目標	-	平成13年度比6%削減(17,578t-CO2)	-	-	-	-	-
	実績	26	基準年度(H13年度)に比べ1.4%削減(18,447t-CO2)	28,169,899kWh (前年28,653,084kWh)	134,144ℓ (前年158,418ℓ)	1,427,481m <sup>3</sup> (前年1,573,555m <sup>3</sup> )	137,379ℓ (前年150,735ℓ)	-
豊中市	目標	32	・温室効果ガス排出量 対12年度比30%削減				-	-
	実績	25	・対12年度2.3%増(45,296t-CO2)				-	-
池田市	目標	29	対25年度比3%削減	-	-	-	-	-
	実績	25	-	38,179,841kWh	109,059L	1,350,326m <sup>3</sup> (CNG11,576m <sup>3</sup> 含)	87,470L	軽油 73,094L A重油148,000L LPG 8,082m <sup>3</sup>



			環境マネジメントシステム認証取得状況	環境管理に関する計画等	備考
コピー用紙使用量	水道使用量	再資源化			
-	-	-	H21.3 ISO14001認証満了 H21.4より独自システムに移行	「温暖化対策ふちようアクションプラン～大阪府地球温暖化対策実行計画(事務事業編)～」の温暖化対策実行計画(事務事業編)～(H24.3策定)	・実績は「温暖化対策ふちようアクションプラン～大阪府地球温暖化対策実行計画(事務事業編)～」の対象となる事務事業による数値 ・原単位とは、排出量を排出量と密接な関係をもつ値で除して得た値
-	-	-			
基準年度(H21年度)204,478,967枚以下に抑制	基準年度(H21年度)10,679,502m <sup>3</sup> 以下に抑制	①廃棄物量を基準年度(H21年度)49,230t以下に抑制 ②基準年度(H21年度)61%以上の紙リサイクル率	・H23.11 ISO14001認証満了 ・大阪市市内環境管理システム(独自システム)本庁舎、区役所等	大阪市環境基本計画(H23.3策定) 大阪市市内環境管理計画(H23.3策定) 大阪市地球温暖化対策実行計画(区域施策編)(H23.3策定)	【庁内ごみの分別種類】 紙類(コピー用紙、ダンボール、カラー用紙、新聞紙、封筒類)・空き缶・空きびん・ペットボトル  【ローカルアジェンダ21】 「地球環境を守る身近な行動指針」(H7.5策定)
210,855,730枚	8,864,792m <sup>3</sup>	①42,898t ②76%	・ISO14001 ごみ焼却工場(環境局)	大阪市地球温暖化対策実行計画(事務事業編)(H23.3策定)	
-	-	-	ISO14001【認証取得】 本庁舎 H14.2 5区役所 H16.2 美原区役所 H18.2 【認証解除】 全庁舎 H19.2.19解除	第2次堺市環境基本計画(H21.5策定) 第2次堺市環境モデル都市行動計画(H26.5策定) 堺市地球温暖化対策実行計画(事務事業編)-3期計画-(H26.7策定) 第2次堺市循環型社会づくり計画(H26.4策定)	【庁内ごみの分別種類】 焼却(一般ごみ・禁忌シュレッダー・清掃工場直送) リサイクル(新聞紙・雑誌書籍・段ボール・その他紙類・シュレッダー古紙)
190t	2,559千m <sup>3</sup>	-			
-	-	-	-	岸和田市環境計画(H10.3策定)H20.3改定 岸和田市地球温暖化対策実行計画(区域施策)H23.5策定 岸和田市地球温暖化対策率先実行計画(H15.3策定)H19.2改定	【庁内ごみの分別種類】 古新聞・雑誌・ダンボール・コピー用紙等・プラスチック・カン・ビン・ペットボトル
23,615,356枚 (前年28,555,679枚) (A4換算)	469,790m <sup>3</sup> (前年586,195m <sup>3</sup> )	-			
-	-	-	-	豊中市環境基本計画(H11.3策定、H23.2第2次計画策定) 第3次豊中市地球温暖化対策実行計画(H23.3策定) 豊中市地球温暖化防止地域計画(H19.11策定、H26.3改定) 豊中市みどりの基本計画(H11.5策定) 第3次一般廃棄物処理基本計画(H23.3改定) 第3次ごみ減量計画(H24.3策定)	○ローカルアジェンダ21 「豊中アジェンダ21-地球環境を守る市民・事業者・行政の行動計画」 (H11.3策定、H17.6改定、H23.6第2次豊中アジェンダ21策定)  【庁内ごみの分別種類】 ビン・カン・ペットボトル・可燃ごみ・不燃ごみ・紙・雑紙
502.0t +22.9%(前年度比)	988,923m <sup>3</sup> +5.9%(前年度比)	-			
16,603,530枚 (A4換算)	390,474m <sup>3</sup>	-	-	池田市新環境基本計画(H23.3策定) 池田市地域省エネルギービジョン(H14.3策定) 池田市地域新エネルギービジョン(H20.2策定) 池田市一般廃棄物処理基本計画(H22.3策定) 第4次池田市地球温暖化防止実行計画(H27.4策定)	○ローカルアジェンダ21 「池田市環境基本計画」  【庁内ごみの分別種類】 可燃ごみ、不燃ごみ、紙、ビン・カン、ペットボトル
17,117,041枚 (A4換算)	402,550m <sup>3</sup>	-			

市町村名	環境管理計画等の主要な目標値及び実績							
		年度	温室効果ガス排出削減目標	電気使用量	灯油使用量	ガス使用量	ガソリン使用量	その他
吹田市	目標	32	温室効果ガス排出量対17年度比25%以上削減	63,520千kWh	—	2,919千m <sup>3</sup>	175KL	軽油60KL
	実績	25	温室効果ガス排出量対17年度比5.0%減	67,904千kWh	1KL	3,442千m <sup>3</sup>	203KL	軽油77KL
泉大津市	目標	25	対19年度比5%削減	対19年度比5.5%削減(10,100,000kwh)	対19年度比6.0%削減(50,760ℓ)	対19年度比3.0%削減(870,000m <sup>3</sup> )	対19年度比9.3%削減(32,400ℓ)	軽油対19年度比9.3%削減(10,000ℓ)
	実績	25	対19年度比3.9%削減	対19年度比6.9%削減(9,948,395kwh)	対19年度比40.4%削減(32,174ℓ)	対19年度比8.6%増加(973,903m <sup>3</sup> )	対19年度比15.1%削減(30,328ℓ)	軽油対19年度比12.1%増加(12,352ℓ)
高槻市	目標	27	温室効果ガス排出量対21年度比で、毎年1%ずつ削減	<ul style="list-style-type: none"> <li>・施設のエネルギー使用に伴う温室効果ガス排出量対21年度比で毎年1%ずつ削減</li> <li>・公用車のエネルギー使用に伴う温室効果ガス排出量対21年度比で毎年1%ずつ削減</li> </ul>				—
	実績	25	温室効果ガス排出量対21年度比27.9%増加(32,958t-CO2)	<ul style="list-style-type: none"> <li>・施設のエネルギー使用に伴う温室効果ガス排出量対21年度比37%増加(26,561t-CO2)</li> <li>・公用車のエネルギー使用に伴う温室効果ガス排出量対21年度比0.28%増加(6,391t-CO2)</li> </ul>				—
貝塚市	目標	25	対21年度比4%削減(7,784,591kg-co2)	対21年度比4%削減(16,143,129kwh)	対21年度比4%削減(73,083ℓ)	対21年度比4%削減(都市ガス642,947m <sup>3</sup> ・LPG14,290m <sup>3</sup> )	対21年度比4%削減(61,751ℓ)	対21年度比4%削減(軽油49,190ℓ・A重油104,160ℓ)
	実績	25	対21年度比5.4%削減(7,667,424kg-co2)	対21年度比6.0%削減(15,808,775kwh)	対21年度比23.1%増加(93,704ℓ)	対21年度比都市ガス8.4%増加(725,782.2m <sup>3</sup> )・LPG14.2%増加(17,003.1m <sup>3</sup> )	対21年度比7.6%増加(69,216.9ℓ)	対21年度比軽油15.3%削減(43,418ℓ)・A重油94.1%削減(6,379,82)
守口市	目標	26	対25年度比1%削減(22,176tco2→21,954tco2)	対25年度比1%削減(23,502,554kwh→23,267,528kwh)	対25年度比1%削減(26,665ℓ→26,398ℓ)	対25年度比1%削減(28,761ℓ→26,665ℓ)	対25年度比1%削減(36,348ℓ→35,984ℓ)	対25年度比 軽油1%削減(46,805ℓ→46,336ℓ)、重油1%削減(65,984ℓ→65,324ℓ)
	実績	25	対24年度比21%削減(27,993tco2→22,176tco2)	対24年度比4%削減(24,514,700kwh→23,502,554kwh)	対24年度比7%削減(28,761ℓ→26,665ℓ)	都市ガス対24年度比1%増(843,065m <sup>3</sup> →831,048m <sup>3</sup> )LPG同1%削減(53,611kg→53,169kg)	対24年度比13%削減(41,816ℓ→36,348ℓ)	軽油: 対24年度比23%削減(60,479ℓ→46,805ℓ)重油: 同24%削減(86,953ℓ→65,984ℓ)

			環境マネジメントシステム認証取得状況	環境管理に関する計画等	備考
コピー用紙使用量	水道使用量	再資源化			
—	—	—	取得済 * 本庁舎及び出張所(H16.7) 更新サイト拡大認証解除 本庁舎及び3出張所 H22.6.30	<ul style="list-style-type: none"> <li>吹田市環境基本計画(H10.8策定)</li> <li>吹田市第2次環境基本計画(H21.3策定)</li> <li>吹田市役所エコオフィスプラン(改定版)策定(H16.4策定)</li> <li>吹田市役所エコオフィスプラン(第3版)策定(H19.4策定)</li> <li>吹田市役所エコオフィスプラン(第4版)策定(H22.4策定)</li> <li>吹田市役所エコオフィスプラン(第5版)策定(H23.4策定)</li> <li>吹田市地域新エネルギー・省エネルギービジョン(H22.2策定)</li> <li>吹田市地球温暖化対策新実行計画(H23.3策定)</li> <li>吹田市役所エコオフィスプラン(平成26年度版)策定(H26.4策定)</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>左記の実績及び目標値は大阪府条例及び吹田市役所エコオフィスプランに基づく数値(府外施設含む)</li> <li>電気の排出係数は、毎年、電力会社が公表する値を使用する。エネルギー使用に伴うCO2排出量から、ごみ焼却施設の売電量に相当するCO2排出量を差し引いて算定している。</li> <li>ローカルアジェンダ21(H17.3策定)</li> <li>【庁内ごみの分別種類】 ビン・缶・ペットボトル・紙ごみ・その他</li> </ul>
対19年度比 2%削減 (4,730,000枚)	19年度の水準を維持 (217,000m <sup>3</sup> )	—	予定なし	<ul style="list-style-type: none"> <li>泉大津市環境基本計画(H14.3策定)</li> <li>泉大津市第2次環境基本計画(H24.3策定)</li> <li>地球温暖化対策の推進に関する泉大津市実行計画[第4期](H26.3策定)</li> <li>泉大津市地球温暖化対策地域推進計画(H24.10策定)</li> </ul>	【庁内ごみの分別種類】 一般ごみ・空き缶・空きビン・乾電池・古新聞・古雑誌・ダンボール
対19年度比 5.9%削減 (4,547,000枚)	対19年度比 12.5%削減 (190,012m <sup>3</sup> )	—			
単年度目標なし (※備考欄参照)	21年度実績以下	焼却ごみ量 対21年度比で 毎年1%ずつ削減	取得済 * 本庁舎(H14.3) H24.4からは 独自システム へ移行	<ul style="list-style-type: none"> <li>第2次高槻市環境基本計画(H24.3策定)</li> <li>たかつきエコオフィスプラン(H23.3策定)</li> <li>たかつき地球温暖化対策アクションプラン(H23.3策定)</li> <li>たかつき新エネルギー戦略(H24.10策定)</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>ローカルアジェンダ21策定(H16.3、最新版H24.11)</li> <li>名称:「たかつき環境行動計画」</li> <li>〇コピー用紙使用量について ・更紙を含め「紙購入量」として把握</li> <li>・目標:【市長部局等】平成27年度までに紙購入量平成21年度比3%削減 【学校園】平成21年度実績以下</li> <li>〇庁内ごみの分別種類 ・可燃ごみー大型、その他 ・不燃ごみーガラス、コップ、その他 ・リサイクルごみー古紙類、カン、ビン</li> </ul>
【市長部局等】 対21年度比 13.7%増加 (21,878千枚) 【学校園】 対21年度比 5%削減 (48,557千枚)	対21年度比 8.3%増加 (691千m <sup>3</sup> )	対21年度比 13.4%削減 (1,181t)			
—	—	—	予定なし	<ul style="list-style-type: none"> <li>貝塚市地球温暖化対策実行計画(H19.2策定)</li> <li>第2期貝塚市地球温暖化対策実行計画(H22.11策定)</li> <li>第3期貝塚市地球温暖化対策実行計画(H26.7策定)</li> <li>貝塚市地域省エネルギービジョン 初期ビジョン(H20.2策定) 重点ビジョン(H21.2策定)</li> </ul>	【庁内ごみの分別種類】 一般ゴミ、カン、ビン、ペットボトル、プラスチック類、乾電池、古新聞、ダンボール
—	—	—			
—	対25年度比 1%削減 (319,438m <sup>3</sup> → 316,243m <sup>3</sup> )	—	予定なし	守口市 地球温暖化対策実行計画(H26.5策定)	【庁内ごみの分別種類】 一般ゴミ・廃プラスチック類・新聞紙・古紙類・ビン・カン・ペットボトル、紙コップ類
—	対24年度比6% 増加(301,124m <sup>3</sup> →319,438m <sup>3</sup> )	古紙類のリサイクルの徹底			

市町村名	環境管理計画等の主要な目標値及び実績							
	年度	温室効果ガス排出削減目標	電気使用量	灯油使用量	ガス使用量	ガソリン使用量	その他	
枚方市	目標	26	対23年度比 3.0%削減 (75,004t ⇒ 72,754t)	対23年度比 5.0%削減 (71,680,693kwh ⇒ 68,096,658kwh)	対23年度比 40%削減 (231,230ℓ⇒ 138,738ℓ)	対23年度比 2.0%以内の増加 にとどめる (3,591,442m <sup>3</sup> ⇒ 3,663,271m <sup>3</sup> )	対23年度比 5%削減 (125,569ℓ⇒ 119,291ℓ)	軽油対23年度比 2.0%削減 (274,156ℓ⇒ 268,673ℓ) LPG対23年度比 12%削減 (61,821m <sup>3</sup> ⇒ 54,402m <sup>3</sup> ) 重油対23年度比 0%削減 (74,973ℓ⇒ 74,973ℓ)
	実績	25	対23年度比 2.2%削減 (73,345t)	対23年度比 5.1%削減 (68,041,985kwh)	対23年度比 1.6%削減 (227,572ℓ)	対23年度比 3.7%増加 (3,723,388m <sup>3</sup> )	対23年度比 5.1%削減 (119,211ℓ)	軽油対23年度比 1.6%削減 (269,875ℓ) LPG対23年度比 11.9%(54445m <sup>3</sup> ) 重油対23年度比 78.9%増加 (134131ℓ)
茨木市	目標	29	対23年度比 7%削減 (75,222t)	(電気・ガス・灯油・A重油・コークス) 原油換算で対23年度比 5%削減(14,306kl)		(ガソリン・軽油) 原油換算で対23年度比 5%削減(215,747ℓ)		
	実績	25	対23年度比 5.2%増加 (85,085t)	(電気・ガス・灯油・A重油・コークス) 原油換算で対23年度比 0.6%削減(14,968kl)		(ガソリン・軽油) 原油換算で対23年度比 3.1%増加(234,032ℓ)		
八尾市	目標	27	平成20年度比で 平成27年度まで に7%以上削減	前年比 1%削減	—	—	26年度比 1%削減	—
	目標	26	平成20年度比で 平成27年度まで に7%以上削減	前年比 1%削減	—	—	24年度比 2%削減	—
	実績	25	平成20年度比で (23,614t-CO <sub>2</sub> ) 8.5%削減 (21,807t-CO <sub>2</sub> )	25年度実績 9252.9千kWh	—	—	25年度実績 42.2kl	—
泉佐野市	目標	26	平成23年度を基準 年とし、CO <sub>2</sub> の排 出を年1%の削減 目標	削減に努める。	削減に努める。	削減に努める。	削減に努める。	—
	実績	25	大阪府温暖化の 防止等に関する条 例の届出では、平 成23年度の排出 量に比べ、6.2%の CO <sub>2</sub> を排出削減	13,360千kwh	84kl	(都市ガス) 551千m <sup>3</sup> (LPガス) 80t	97kl	—
富田林市	目標	28	対22年度比 5%削減	対22年度比 11.1%削減	対22年度比 2.3%削減	対22年度比 5.9%削減(都 市) 2.1%削減(LPG)	対22年度比 5.0%削減	軽油 対22年度比 5.0%削減
	実績	25	25.4%増加 11,164t-CO <sub>2</sub> (電力の排出係数 増加により増加)	10.3%削減 14,936,076kWh	8.2%削減 151,004ℓ	4.7%削減 969,541m <sup>3</sup> (都市) 56.4%増加 6,950kg(LPG)	5.3%削減 91,967ℓ	23.8%削減 41,175ℓ

			環境マネジメントシステム認証取得状況	環境管理に関する計画等	備考
コピー用紙使用量	水道使用量	再資源化			
対23年度比 11.0%削減 (A4換算 2,532万枚⇒ 2,253万枚)	対23年度比 2.0%削減 (1,003,023㎡⇒ 982,963㎡)	本庁・分館の可 燃ゴミ排出量を 対23年度比0%削 減 (19.6t⇒ 19.6t)	ISO14001取得済 (H13.10) 平成25年度から は、独自システム である「枚方市環 境マネジメントシ ステム(H-EMS)へ移 行 本市が所有するす べての施設等で運 用	第2次枚方市環境基本計画 (H23.3策定) 枚方市地球温暖化対策実行計 画(事務事業編)～枚方市役所 CO <sub>2</sub> 削減プラン(2013～2017年 度)～(H25.3策定) 枚方市地球温暖化対策実行計 画(区域施策編)(H25.3策定)	【庁内ごみの分別種類】 一般ゴミ・古紙類・ビン・カ ン・ペットボトルなど廃プラス チック類
対23年度比 11.8%削減 (2,253万枚)	対23年度比 1.3%削減 (990,287㎡)	本庁・分館の可 燃ゴミ排出量 対23年度比 25.5%増加 (24.6t)			
対23年度比 現状維持(印刷用 紙含む業者発注 分除く) (54,519,050枚) * A4換算	対23年度比 現状維持(610,314 ㎡)	普通ごみ排出量 対23年度比 10%削減(388.4t)	取得済 ※消防本部・署は 平成24年11月に、 市庁舎本館・南館 は平成25年3月に 認証登録解除	茨木市環境基本計画 (H16.3策定) エコオフィスプラン いばらき (H12.3策定) (第2版)(H15.3改正) (第3版)(H21.3改正) (第4版)(H25.3改正) 茨木市地域 エネルギービジョン (H23.2策定) 茨木市地球温暖化対策実行 計画(H24.3策定)	【庁内ごみの分別種類】 新聞紙・その他の紙類・空き 缶・空きビン・ペットボトル・普 通ごみ
対23年度比 2.3%削減 (53,258,230枚) * A4換算	対23年度比 6.9%増加 (652,687㎡)	対23年度比 10.4%削減(386.8t)			
27年度目標値よ り削減する	—	実績値のみ把握			※庁内ごみの分別種類 可燃ごみ、資源ごみ、複雑ご み、埋立ごみ、新聞、雑誌、ダ ンボール、その他紙類 ※KES認証取得範囲(本庁舎 及び清掃庁舎)だけでなく、全 庁的に環境マネジメントシステ ムを用いて環境改善活動を 行っている。 ※温室効果ガス排出量の算 出には、市立病院、水道局を 含む ※平成25年度より、1年間の目 標設定となったため、実績値 のみを記載。 ※平成24年度までは半年間の 実績を入力していたため。
前年度実績を維 持	—	実績値のみ把握	KES認証更新 (平成27年3月1 日付、本庁舎及 び清掃庁舎)	環境マネジメントシステムに よる環境改善計画 大阪府温暖化の防止等に関 する条例に基づく削減計画 八尾市地球温暖化対策実行 計画(事務事業編)	
25年度実績 11,714,930枚	—	25年度実績 90.8t			
—	—	—	予定なし	泉佐野市地球温暖化対策実 行計画(平成25年3月策定)	庁内ゴミの分別 ・可燃ゴミ ・カン ・ビン、ペットボトル ・ 紙類
—	—	—	—	富田林市地球温暖化対策実 行計画(第3次)(H24.3策定)	* 目標・実績は富田林市地 球温暖化対策実行計画(第 3次)より 【庁内ごみの分別種類】 もえるごみ、粗大ごみ、資源 カン・ビン、資源ペットボト ル、資源古紙古布、資源プラ スチック製容器
—	—	—	—		

市町村名	環境管理計画等の主要な目標値及び実績							
	年度	温室効果ガス排出削減目標	電気使用量	灯油使用量	ガス使用量	ガソリン使用量	その他	
寝屋川市	目標	26	対21年度比 6%削減 (24,793t)	対21年度比 5%削減 (施設稼働除く) (13,857,492kwh)	燃料の使用量(自動車含む)を 概ね対21年度比5%削減 (都市ガス: 858,525m <sup>3</sup> ) (LPG: 16,247kg)		71,780ℓ	廃プラスチックの 焼却量を、対21 年度比12%削減 (4,354t)
	実績	25	対21年度比 2.1%削減 (24,284t)	対21年度比 2.2%削減 (13,547,872kwh)	対21年度比 29.4%削減 (185,250ℓ)	対21年度比 29.6%増加 (都市ガス: 1,112,656m <sup>3</sup> ) 対21年度比 4.9%増加 (LPG: 17,048kg)	対21年度比 3.7%削減 (69,109ℓ)	対21年度比 3.5%削減 (4,200t)
河内長野市	目標	27	平成17年度を基準と して平成27年度まで に37パーセント以上 削減 (ただし、森林吸収量 含む)	削減に努める。	削減に努める。	削減に努める。	削減に努める。	—
	実績	25	対平成17年度比 実排出量 32.5% 削減 (7876.4t-CO <sub>2</sub> )	15,859,286kwh	155,000.0ℓ	LPG: 29685.8kg 都市ガス: 289143.3m <sup>3</sup>	74715.3ℓ	—
松原市	目標	27	対24年度比で25 から27年度まで の3か年で3%以上 削減	項目毎の削減目標は定めていないが、対24年度比で25から27年度ま での3か年で概ね3%削減に努める				—
	実績	25	6,561,380kg-CO <sub>2</sub>	10,275,947kwh	9,389ℓ	709,575m <sup>3</sup>	52,425ℓ	—
大東市	目標	30	平成23年度を基準年 度として、平成25年 度から30年度までの 6年間で、温室効果 ガスを6%削減。 (5,840.43t)	対23年度比 6%削減 (12,784,365.7kwh)	対23年度比 6%削減 (2,288ℓ)	対23年度比 6%削減 (493,515.6m <sup>3</sup> )	対23年度比 6%削減 (51,009.3ℓ)	—
	実績	25	対23年度比 4.27%削減 (5,947.87t)	対23年度比 4.32%増加 (13,012,684.0kwh)	対23年度比 60.89%削減 (956.0ℓ)	対23年度比 10.95%増加 (582,543.9m <sup>3</sup> )	対23年度比 13.56%削減 (46,915.6ℓ)	—
和泉市	目標	27	—	H22年比14%削減 (1,251.317kwh)	—	23年度数値維持 (87,307m <sup>3</sup> )	23年度数値維持 (47,302ℓ)	—
	実績	25	—	本庁舎: 対H22 年度比12.9%減 少 (1,147,850kwh) 上下水道部庁 舎: 対H22年度 比29.5%減少 (97,157kwh)	—	対23年度比 10.5%増 (96,504m <sup>3</sup> )	対11年度比 41.2%削減 (46,772ℓ)	—
箕面市	目標	22	—	対11年度比 15%削減 (24,365,000kwh)	—	対11年度比 10%削減 (1,384,791m <sup>3</sup> )	対11年度比 10%削減 (76,557ℓ)	—
	実績	25	—	対11年度比 2.5%増加 (29,377,707kwh)	—	対11年度比 8.6%増加 (1,671,145m <sup>3</sup> )	対11年度比 2.0%削減 (83,367ℓ)	—

			環境マネジメントシステム認証取得状況	環境管理に関する計画等	備考
コピー用紙使用量	水道使用量	再資源化			
対21年度比 2%削減 (87,618,575枚)	節水に心がける (数値目標なし)	事務用品等の再 生品購入推進	市役所本庁舎 H21年度に廃止	寝屋川市環境基本計画 (H14.2策定) 寝屋川市役所 温暖化対策実行計画 (H13.2策定) 第二期寝屋川市役所温暖 化対策実行計画(H17.4策定) 寝屋川市グリーン調達方針 (H25.4改定) 寝屋川市環境基本計画 (H23.3改定) 第三期寝屋川市役所温暖 化対策実行計画(H22.4策定) 寝屋川市地球温暖化対策地 域計画(H24.9策定)	【庁内ごみの分別種類】 古紙、カン、ビン、ペットボ トル、一般ごみ、廃プラ
対21年度比 6.5%削減 (81,936,060枚)	—	—		河内長野市環境基本計画 (H13.3策定,H23.3改訂) 河内長野市環境率先行動実 行計画 (H13.10策定,H21.12改訂) * 温暖化防止実行計画を含 む	【庁内ごみの分別種類】 古新聞・雑誌・ダンボール・コ ピー用紙・カン・ビン・ペット ボトル・一般ごみ ペットボ トルのキャップ
削減に努める	削減に努める	—	—	地球温暖化対策の推進 に関する松原市実行計画(第 2次) (H25.11策定)	【庁内ごみの分別種類】 用紙類
—	—	—			
30,446,768枚 ※A4換算	259,417㎡	—	—	大東市環境基本計画 (H18.7策定) 大東市地球温暖化対策 実行計画(H14.1策定) 第2期大東市地球温暖化対 策実行計画(H19.3策定) 第3期大東市地球温暖化対 策実行計画(H25.3策定)	【庁内ごみの分別種類】 古紙(4種類)、カン・ビン、ペ ットボトル、紙バック ※温室効果ガス排出量実績は、 基準年度当時(「温暖化対策指 針」府：平成23年3月)の排出係 数を用いている。
対23年度比 6%削減 (9,505,750枚)	対23年度比 6%削減 (273,094.4㎡)	—			
23年度数値維持 (3,212,140枚) * A4換算	前年度比 1%削減	—	本庁舎(H13.11) ※H27.3未認証 返上予定	第二次和泉市環境基本計画 (H23.3策定)	【庁内ごみの分別種類】 ダンボール・新聞紙・一般 紙・雑誌類・ペットボトル・カ ン・ビン・乾電池
対11年度比 54%削減 (3,384,883枚) * A4換算	対24年度比 9.3%減少 (19,094㎡)	—			
対11年度比 5%削減 (24,869,971枚)	対11年度比 5%削減 (468,890㎡)	—	—	箕面市 快適環境づくり計画(ステップ2) (H13.3策定)	○ローカルアジェンダ21 「箕面市地球環境保全行動計画」 (H12.3策定) ○庁内ごみの分別種類 燃えるごみ、燃えないごみ、缶、ビ ン、ペットボトル、紙類(再生紙等) ○箕面市快適環境づくり計画(H6.3 策定)
対11年度比 16.0%増加 (30,376911枚)	対11年度比 9.7%削減 (445620㎡)	—			

市町村名	環境管理計画等の主要な目標値及び実績							その他
	年度	温室効果ガス排出削減目標	電気使用量	灯油使用量	ガス使用量	ガソリン使用量		
柏原市	目標	25	対12年度比 5%削減 (6,657t-CO2)	対12年度比 5%削減 (14,393,185kw)	対12年度 (32,210L) 10%削減	対12年度 10%削減 都市ガス (560,588m3) プロパン (22,434kg)	—	自動車燃料の総 使用量 対12年度比 5%削減 ガソリン (38,913L) 軽油 (10,487L) 重油 (4,340L)
	実績	24	対12年度比 28.1%増 (8,527t-CO2)	対12年度比 4.5%増 (15,036,347kw)	対12年度比 40.4%増加 (45,217L)	対12年度比 都市ガス 6.2%増 (595,109m3) プロパン 1.7%増 (22,825kg)	—	対12年度比 ガソリン 16.0%増 (45,123L) 軽油 362%増 (37,937L) 重油 13%増 (4,906L)
羽曳野市	目標	22	対13年度比 11%削減 (8,118,629kg-CO2)	対13年度比 11%削減 (15,505,036kwh)	対13年度比 11%削減 (84,562ℓ)	対13年度比 11%削減 (854,020m <sup>3</sup> )	対13年度比 11%削減 (68,643ℓ)	—
	実績	25	10,714,306kg- CO2 (17.4%増)	16,562,120kwh (4.9%減)	92,038ℓ (3.1%減)	746,300m <sup>3</sup> (22.2%減)	50,414ℓ (34.6%減)	—
門真市	目標	26	23年度基準比 3%削減 22,456t-co2	—	—	—	—	—
	実績	25	24,427t-co2	23,096千kwh	41,000ℓ	716,000m <sup>3</sup>	24,000ℓ	14,000ℓ
摂津市	目標	27	対22年度比 -5% 21,252t-CO2	対22年度比 -5% 20,397千 kwh	対22年度比 -5% 114,743ℓ	対22年度比 -5% 320,522m <sup>3</sup>	対22年度比 -5% 84,124ℓ	—
	実績	25	対22年度比 +0.1% 22,392t-CO2	対22年度比 -4.9% 20,411千 kwh	対22年度比 -28.4% 86,516ℓ	対22年度比 -1.3% 332,943m <sup>3</sup>	対22年度比 -9.6% 77,684ℓ	—
高石市	目標	17	3,391トン/CO2	対11年度 概ね5%削減 (5,965,384.4kwh)	対11年度 概ね5%削減 (22,536.4ℓ)	対11年度 概ね5%削減 (469,691.7m <sup>3</sup> )	対11年度 概ね5%削減 (22,536.6ℓ)	対11年度 概ね5%削減 (軽油:3,775.7ℓ) (A重油:4,770.9ℓ)
	実績	25	4,087トン/CO2	7,562,315.1kwh	2,308.0ℓ	527,566.0m <sup>3</sup>	28,601.3ℓ	軽油:7,262.6ℓ A重油12,066.0ℓ
藤井寺市	目標	22	対10年度比 5%削減 (5,175t-CO2)	対10年度比 5%削減 (9,894,083wh)	極力削減	対10年度比 5%削減 (399,608m <sup>3</sup> )	公用車使用量対 10年度比10%削 減(31,003ℓ) その他使用量 極力削減	対10年度比 10%削減(79,130 ℓ)その他使用量 極力削減 A重油:対10年 度比4%削減 (20,438ℓ)
	実績	25	5,065t/CO2	9,104千kwh	37,490ℓ	324千m <sup>3</sup>	17,609ℓ	軽油:25,505ℓ A重油:5,748ℓ



			環境マネジメントシステム認証取得状況	環境管理に関する計画等	備 考
コピー用紙使用量	水道使用量	再資源化			
対12年度比 5%削減 ※A4換算枚数	対12年度比 (250,569m <sup>3</sup> ) 5%削減	—	自己宣言 (H22.3.25)	柏原市 地球温暖化対策実行計画 (H14.3策定)	※目標を市の全ての事務事業活動での削減に取り組む (当初は新規施設は除いていた) ※ISO14001自己宣言による運用
—	対12年度比 20%削減 (200,324m <sup>3</sup> )	—	—		
—	—	—	予定なし	羽曳野市地球温暖化対策 推進実行計画 (H15.3策定)	
—	—	—			
—	—	—	予定なし	第三期門真市エコオフィス計画 (平成24年6月策定) ※期間は平成24年度実績から 26年度実績の間で平成23年度 比3%の削減)	【庁内ごみの分別種類】 普通ごみ、プラスチック製容器 包装、びん・缶類、粗大ごみ類、 小型・ガラス類、ペットボトル、古 紙・古布
—	—	—			
—	対22年度比 -5% 229,518m <sup>3</sup>	—	環境業務課・環 境センターに於 いてEA21認証 取得(H21年3 月)	・せつつエコオフィス推進プログラ ムIII(H.24年3月策定) ・摂津市地球温暖化防止地域 計画(H23年12月策定)	※対象:全庁舎(外部職場を含 む)電気、ガス、水道等の使用量 【庁内ごみの分別】 OA用紙、新聞、雑誌・雑紙、缶、 びん、ペットボトル、ペットボトル キャップ、ダンボール、もやせる ごみ、もやせないごみ
—	対22年度比 -6.8% 225,154m <sup>3</sup>	—			
対11年度 概ね5%削減 (10,264,180枚)	対11年度 概ね5%削減 (190,550.0m <sup>3</sup> )	—	予定なし	高石市 地球温暖化対策実行計画 (H13. 11策定)	【庁内ごみの分別種類】 紙類(コピー用紙、ダンポー ル、新聞紙、本、雑誌)・空き 缶・空きびん・ペットボトル・ 白色トレイ
6,035,250枚	124,196m <sup>3</sup>	—			
対10年度比 5%削減 (19,510,557枚)	対10年度比 5%削減 (223,446m <sup>3</sup> )	—	予定なし	藤井寺市 地球温暖化対策推進実行計 画 (H13.3策定)	【庁内ごみの分別種類】 普通ゴミ、粗大ゴミ、カン、ピ ン、ペットボトル、紙、新聞、 ダンボール、乾電池
—	133,259m <sup>3</sup>	—			

市町村名	環境管理計画等の主要な目標値及び実績							
		年度	温室効果ガス排出削減目標	電気使用量	灯油使用量	ガス使用量	ガソリン使用量	その他
東大阪市	目標	28	H22年度比9.9%削減	—	—	—	—	—
	実績	25	—	対22年度比 -3.2% (50,050,727kwh)	対22年度比 +7.7% (363,965ℓ)	対22年度比 都市ガス:-3.5% (3,738,725m <sup>3</sup> ) LPG:-27.7% (3,248kg)	対22年度比 +6.4% (234,186ℓ)	対22年度比 軽油:+17.9% (303,867ℓ) A重油:+5.5% (24,145ℓ)
泉南市	目標	27	平成24年度比3%削減	8968468kwh	187110ℓ	140192m <sup>3</sup>	—	—
	実績	25	—	8931960kwh	179744ℓ	147152m <sup>3</sup>	—	—
四條畷市	目標	27	対21年度比温室効果ガス排出量5%削減 (3,564t-CO <sub>2</sub> )	対21年度比5%削減 (7,997,089Kwh)	対21年度比5%削減 (18ℓ)	対21年度比5%削減 都市ガス:235,749m <sup>3</sup> LPガス:12,685kg	対21年度比5%削減 (25,632ℓ)	軽油使用量対21年度比5%削減 (14,576ℓ)
	実績	25	3,457t-CO <sub>2</sub> 3.0%減	7,705,873Kwh 3.6%減	0ℓ 100%減	都市ガス:230,876m <sup>3</sup> 2.1%減 LPガス:9,297kg 26.7%減	31,105ℓ 23.0%増	16,985ℓ 16.5%増
交野市	目標	27	対21年度比温室効果ガス排出量5%削減	対21年度比5%削減	対21年度比5%削減	対21年度比5%削減	対21年度比5%削減	対21年度比軽油5%削減
	実績	25	対21年度比12%削減 (5,308t-CO <sub>2</sub> )	対21年度比1.6%増 14,895,497kwh)	対21年度比11%削減 (164,410ℓ)	対21年度比 都市ガス:156%増 (248,656m <sup>3</sup> ) LPガス:39%削減 (18,948kg)	対21年度比4.2%増 (58,690ℓ)	対21年度比軽油:3.8%削減 (68,565ℓ)
大阪狭山市	目標	27	対21年度比温室効果ガス排出量6%削減 (新計画策定までの暫定目標。以下同じ。)	対21年度比6%削減	対21年度比6%削減	対21年度比6%削減	対21年度比6%削減	軽油、A重油、CNG 対21年度比6%削減
	実績	25	(基準年度比0.6%増) 4,585t-CO <sub>2</sub> ※電気の排出係数の上昇により増加。	(基準年度比26.7%減) 7,388,391kWh	(基準年度比21.4%減) 52,919ℓ	(基準年度比13.0%減) 都市ガス:221,973m <sup>3</sup> (基準年度比91.6%減) LPG:393kg	(基準年度比8.4%増) 38,008ℓ	(基準年度比7.8%増) 軽油:19,788ℓ (基準年度比 皆減) A重油:0ℓ (基準年度比74.4%減) CNG:801m <sup>3</sup>
阪南市	目標	27	対22年度比温室効果ガス排出量70t-CO <sub>2</sub> 削減	—	—	—	—	—
	実績	25	3,007t-CO <sub>2</sub>	7,559,705Kwh	160,019ℓ	プロパン:12,720kg 都市ガス:577m <sup>3</sup>	35,249ℓ	軽油:57,370ℓ、 A重油:450ℓ
島本町	目標	28	対12年度比温室効果ガス排出量6%削減	—	—	—	—	—
	実績	25	32.7%増 (8,444,991kg-CO <sub>2</sub> )	9,494,000kWh	0ℓ	都市ガス67,422m <sup>3</sup> LPガス5,859kg	15,251ℓ	—
豊能町	目標							
	実績							

未設定

			環境マネジメントシステム認証取得状況	環境管理に関する計画等	備考
コピー用紙使用量	水道使用量	再資源化			
—	—	—	—	東大阪市第2次環境基本計画(H23.3策定) 東大阪市地球温暖化対策実行計画区域施策編(H22.3策定) 東大阪市地球温暖化対策実行計画事務事業編EACH20XX II(H24.6策定) 東大阪市地球温暖化対策実行計画区域施策編(H27.3改定)	削減目標、実績は東大阪市地球温暖化対策実行計画事務事業編EACH20XX IIの数値を使用。
—	—	—	—		
1496496枚	176771m <sup>3</sup>	—	予定なし		
1421817枚	198368m <sup>3</sup>	—			
※対21年度比概ね5%削減(13,678,883枚)	対21年度比5%削減(111,640m <sup>3</sup> )	可燃ごみ対21年度比5%削減(121,609kg)	H18.4取得 ※H21.4より独自のシステム運用	第2次四條畷市地球温暖化対策実行計画(H23.4策定) 四條畷市環境基本計画(H19.6策定)	※用紙使用量には、コピー用紙のほか、定期刊行物の発行に伴う用紙使用量を含む ※四條畷市環境マネジメントシステム
15,791,215枚 15.4%増	99,187m <sup>3</sup> 11.2%減	170,444kg 38.8%減			
削減する	対21年度比5%削減	分別及びリサイクルの向上を図り、廃棄物の減量に努める	平成19年6月よりLAS-Eに沿ったEMSを導入し、運用している	第2期交野市エコオフィス率先行動計画(H17.3策定) ※H23年度よりエコオフィスの目標数値はLAS-Eの数値目標を準用する	H24年3月に環境基本計画を策定 ※電気0.265で計算 都市ガス2.29で計算
—	対21年度比7.5%削減(166,595m <sup>3</sup> )	—			
対21年度比6%削減	対21年度比6%削減	公共工事におけるリサイクル資材使用率70%以上	EA21認証取得(本庁舎・消防庁舎)H21.3(保健センター)H23.3(コミュニティセンター、老人福祉センター、心身障害者福祉センター及び母子・父子福祉センター・障害者地域活動支援センター)H24.3(文化会館、学校給食センター、総合体育館、池尻体育館、ふれあいスポーツ広場、公民館・図書館)H25.3(保育所・幼稚園・小学校・中学校)H26.3(子育て支援センター)H27.3	地球温暖化対策実行計画「エコプランおおさかさやま」(H13.3策定) 大阪狭山市地球温暖化対策実行計画(事務事業編)(H22.12策定)	コピー用紙、水道使用量の取組結果計測及び評価は、EA21認証取得施設のうち、子育て支援センターを除き集計。 【庁内ごみの分別種類】再生可能な用紙(コピー用紙、封筒、名刺、はがき等)、再生できない用紙、ペットボトル、ビン、缶、トレイ
(基準年度比0.2%増) 7,755,697枚	(基準年度比14.3%減) 92,891m <sup>3</sup>	99.0%			
—	—	—	予定なし	第3次 阪南市地球温暖化対策実行計画2011(事務事業編)(H23.4策定)	【庁内ごみの分別種類】可燃ごみ、カン、ビン、ペットボトル、プラスチック類、新聞、ダンボール、電池、粗大ごみ
6,085,075枚	78,113m <sup>3</sup>	—			
—	—	—	島本町環境マネジメントシステム(H24.5.1) 本庁舎、ふれあいセンター、清掃工場、上下水道部、消防本部	第三期 島本町地球温暖化対策実行計画(H24.3策定) 島本町環境基本計画(H26.8策定)	【庁内ごみの分別種類】可燃ごみ、不燃ゴミ、ビン、カン、ペットボトル、紙、ダンボール
—	—	—			
—	—	—	予定なし	豊能町地球温暖化対策実行計画(H14.3月策定) 第2次豊能町地球温暖化対策実行計画(H19.4月策定) 第3次豊能町地球温暖化対策実行計画(策定期未定)	

市町村名	環境管理計画等の主要な目標値及び実績						
	年度	温室効果ガス排出削減目標	電気使用量	灯油使用量	ガス使用量	ガソリン使用量	その他
能勢町	目標						
	実績					未設定	
忠岡町	目標	29	対23年度 2%削減	-	-	-	-
	実績	25	対23年度比 7%削減 (1,832,778kg-CO2)	-	-	-	-
熊取町	目標	28	対22年度比 3.6%削減 (169,811kg-CO2)	対22年度比 3.2%削減 (331,253kwh)	【灯油・ガス・A重油】 対22年度比 4.1%削減 (813,821MJ)	対22年度比 5.6%削減 (1,995ℓ)	【軽油】 対22年度比 5.6%削減 (359ℓ)
	実績	25	対22年度比 12.3%削減 (577,989kg-CO2)	対22年度比 11.6%削減 (1,195,663kwh)	対22年度比 10.9%削減 (2,140,851MJ)	対22年度比 34.2%削減 (12,181ℓ)	【軽油】 対22年度比 55.2%削減 (3,532ℓ)
田尻町	目標	28	対24年度比 3%削減 (1,273,319kg-CO2)	-	-	-	-
	実績	25	対24年度比 1.66%増加 1,333,857kg-CO2 132,530	対24年度比 2.39%増加 2,198,898Kwh	対24年度比 13.78%削減 5,639ℓ	対24年度比 0.95%増加 2124,999m <sup>3</sup>	対24年度比 10.75%削減 11203.9ℓ
岬町	目標						
	実績					未設定	
太子町	目標						
	実績	25	-	393,505kwh	-	-	8,454.24ℓ
河南町	目標	26	対23年度比 3%削減 1,806,183kg-CO2	-	-	-	-
	実績	23	1,862,044kg-CO2	4,330,863Kwh	151,973.7ℓ	LPG7,203Nm <sup>3</sup> + 天然ガス872Nm <sup>3</sup>	19,161.2ℓ
千早赤阪村	目標						
	実績	17		227,029kwh	1,112ℓ	1.9m <sup>3</sup>	4,130ℓ

			環境マネジメントシステム認証取得状況	環境管理に関する計画等	備 考
コピー用紙使用量	水道使用量	再資源化			
			予定なし	第2次能勢町環境基本計画(H24.3策定)	第2次能勢町廃棄物(ごみ)減量計画策定(H24. 3策定)
-	-	-	予定なし	第3次忠岡町地球温暖化対策実行計画(平成25年度策定)	【庁内ゴミの分別種類】 ・一般家庭ごみ ・プラスチック製容器包装 ・カン、ビン ・ペットボトル ・粗大ごみ
-	-	-			
抑制に努める	抑制に努める	ごみの分別を徹底し、排出抑制・再資源化に努める	予定なし	第3期熊取町地球温暖化対策実行計画(H24年3月策定)	■庁内ゴミの分別■ ①可燃ごみ ②びん類 ③紙類 ④衣類 ⑤かん類 ⑥ペットボトル ⑦プラスチック製容器包装 ⑧粗大・不燃ごみ
抑制に努める	抑制に努める	ごみの分別を徹底し、排出抑制・再資源化に努める	予定なし		
用紙の使用量削減を目標に適正利用の推進	水の適正利用の推進	-	予定なし	田尻町地球温暖化対策実行計画(H26.3策定) 基準年度:平成24年度 計画期間:平成26年度～平成28年度	
数値把握未実施	数値把握未実施	-			
			予定なし	岬町地球温暖化防止対策実行計画(H15.3策定) 分別:可燃ごみ、資源ごみ(紙類・古着類、ペットボトル、プラごみ、空缶・空瓶)、不燃ごみ	
			予定なし		■庁内ゴミの分別■ ①もえるごみ ②ビン・カン ③ペットボトル ④粗大・金属 ⑤古紙
1,375,000枚	1,971m <sup>3</sup>				
-	-	-	EA21認証済(H20.5.2)	平成25年1月に第2次河南町地球温暖化対策実行計画を策定※平成27年3月一部修正	
-	-	-			
			予定なし		本庁舎分のみ 庁舎内の分別 ①燃えるごみ、②古紙 ③ダンボール
810,000枚	1,230m <sup>3</sup>	-			

# 豊かな環境づくり大阪府民会議規約

(名称)

**第1条** この会議は、豊かな環境づくり大阪府民会議(以下「府民会議」という。)と称する。

(目的)

**第2条** 府民会議は、地方公共団体、事業者団体、府民団体その他の団体及び学識経験者の協働により、豊かな環境の保全と創造に関する活動を積極的に推進することを目的とする。

(事業)

**第3条** 府民会議は、前条の目的を達成するため、次の事業を行う。

- (1)大阪府環境基本条例第6条に規定する豊かな環境の保全と創造に資する啓発活動等の事業を企画し推進すること。
- (2)大阪府環境基本条例第19条に規定する地球環境保全に資する行動指針を策定し、地球環境保全に関する実践行動を企画し推進すること。

(構成)

**第4条** 府民会議は、地方公共団体、事業者団体、府民団体その他の団体及び学識経験者をもって構成する。

- 2 府民会議に入会しようとするもの(学識経験者を除く。)は、府民会議総会の承認を得なければならない。
- 3 学識経験者は、事務局長が委嘱する。
- 4 学識経験者の任期は2年とし、再任を妨げない。

(議長)

**第5条** 府民会議に議長を置き、府民会議を構成する学識経験者の委員の中から府民会議総会において選出する。

- 2 議長は、府民会議を代表する。
- 3 議長は、府民会議総会を招集し、これを運営する。

(副議長)

**第6条** 府民会議に副議長を置き、企画委員長をもって充てる。

- 2 副議長は、議長を補佐し、議長が不在のときはその職務を代理する。

(総会)

**第7条** 府民会議総会は、地方公共団体、事業者団体、府民団体その他の団体において選任された者及び学識経験者を委員として組織する。

- 2 総会は、この規約に定める事項のほか、府民会議の運営に関する重要な事項を議決する。

(企画委員会)

**第8条** 府民会議の事業の企画立案等を行うため、府民会議に企画委員会を置く。

- 2 企画委員会の委員長及び委員は、議長が指名する。
- 3 企画委員長が不在のときは、あらかじめ企画委員長が指名する委員が企画委員長を代理する。

(事務局)

**第9条** 府民会議の事務局を大阪府環境農林水産部エネルギー政策課内に置き、大阪府環境政策監を事務局長とする。

(雑則)

**第10条** この規約に定めるもののほか、府民会議に関し必要な事項は、議長が定める。

附則

この規約は、平成6年11月10日から施行する。

附則

この規約は、平成10年1月20日から施行する。

附則

この規約は、平成10年4月1日から施行する。

附則

この規約は、平成12年1月31日から施行する。

附則

この規約は、平成14年4月1日から施行する。

附則

この規約は、平成17年4月1日から施行する。

附則

この規約は、平成22年6月29日から施行する。

附則

この規約は、平成24年4月1日から施行する。

附則

この規約は、平成25年4月1日から施行する。

附則

この規約は、平成25年6月27日から施行する。

附則

この規約は、平成27年6月26日から施行する。

## 豊かな環境づくり大阪府民会議 委員名簿

平成27年6月末現在

★印は企画委員会委員

(敬称略)

### 【学識経験者】

(6名)

議長	大阪産業大学大学院工学研究科教授	尾崎 博明
副議長 (企画委員長)	大阪教育大学教育学部教授	石川 聡子★
	大阪市立自然史博物館館長	谷田 一三★
	大阪産業大学大学院人間環境学研究科教授	花田真理子★
	大阪学院大学国際学部教授	三輪 信哉★
	大阪大学大学院工学研究科助教	山口 容平★

### 【府民団体】

(13名)

(一社)大阪エイフボランティアネットワーク	副会長	金谷美津子
(一財)大阪府こども会育成連合会	常務理事	小川 佳映
大阪府生活協同組合連合会	事務局長	小山 正人★
大阪府青年団協議会	監事	谷村 彰紀
(一社)ガールスカウト大阪府連盟	連盟長	新家 庸子★
国際ソロプチミスト大阪	環境奉仕委員会 担当長	小林 朋子
国際ロータリー第2660地区	地区社会奉仕委員会 副委員長 (7/1～ 委員長)	中山 正隆★
なにわの消費者団体連絡会	事務局長	岡本 孝子★
(公社)日本青年会議所近畿地区大阪ブロック協議会	副会長	山口 武志
日本ボーイスカウト大阪連盟	事務局長	福田 雅之
日本野鳥の会大阪支部	副支部長	村濱 史郎★
日本労働組合総連合会大阪府連合会	副事務局長	田中 宏和
ライオンズクラブ国際協会 335-B 地区	環境保全委員長	西 和夫

【事業者団体】

(9名)

(公社)関西経済連合会	経済調査部長	徳田 龍裕★
(一社)関西経済同友会	企画調査部 調査役	松尾 康弘
大阪商工会議所	経済産業部長	中野 亮一
(公社)大阪府工業協会	参事	小西 信行
大阪府中小企業団体中央会	事務局長兼総務部長	横田 荘司★
近畿百貨店協会	事務局長	佐伯 匡由
日本チェーンストア協会関西支部	事務局長	布施 晃★
大阪府小売市場総連合会	会長	森本 純二
大阪府商店街連合会	事務局長	満園 賢司

【関連団体等】

(5名)

地球環境関西フォーラム	理事・事務総長	仲上 俊二★
(公財)大阪みどりのトラスト協会	常務理事兼事務局長	平田 通文
大阪府地球温暖化防止活動推進センター	事務局長	奥田 毅★
大阪自動車環境対策推進会議	環境管理室交通環境課長	福山 喜彦
大阪美しい景観づくり推進会議	事務局・都市空間創造室 参事	田中 実

【行政】

(5名)

事務局長	大阪府	環境政策監	竹柴 清二
	大阪市	環境局環境施策部長	野原賢一郎
	堺市	環境局環境都市推進部長	酒井 隆
	八尾市(市長会会長市)	環境経済部長	村上 訓義
	千早赤阪村(町村長会会長村)	住民課長	池西 昌夫



豊かな環境づくり大阪府民会議構成団体の連絡先（平成 27 年 6 月末現在）

【府民団体 13】

団体名	委員名	所在地	連絡先
(一社)大阪エイフボランティアネットワーク	副会長 金谷美津子	〒593-8324 堺市西区鳳東町4丁390-1 泉北府民センタービル3階	TEL 072-289-5146 FAX 072-289-5147
(一財)大阪府こども会育成連合会	常務理事 小川 佳映	〒556-0021 大阪市浪速区幸町2-7-3 りそな・アルテ桜川ビル2階	TEL 06-6561-0051 FAX 06-6561-0053
大阪府生活協同組合連合会	事務局長 小山 正人	〒542-0012 大阪市中央区谷町7-4-15 大阪府社会福祉会館内	TEL 06-6762-7220 FAX 06-6762-7296
大阪府青年団協議会	監事 谷村 彰紀	—	—
(一社)ガールスカウト大阪府連盟	連盟長 新家 庸子	〒556-0017 大阪市浪速区湊町1-4-1 OCATビル 4階	TEL 06-6648-5757 FAX 06-6648-5858
国際ソロプチミスト大阪	環境奉仕委員会 担当長 小林 朋子	〒530-0005 大阪市北区中之島5-3-68 リーガロイヤルビル403号室	TEL 06-6448-1121 (内) 3880
国際ロータリー第2660地区	地区社会奉仕委員会 ~6/30 副委員長 7/1~ 委員長 中山 正隆	〒541-0052 大阪市中央区安土町1-5-11 トヤマビル東館6階	TEL 06-6264-2660 FAX 06-6264-2661
なにわの消費者団体連絡会	事務局長 岡本 孝子	〒542-0012 大阪市中央区谷町7-4-15 大阪府社会福祉会館内	TEL 06-6762-7220 FAX 06-6762-7296
(公社)日本青年会議所近畿地区大阪ブロック協議会	副会長 山口 武志	〒598-0006 泉佐野市市場西3-2-34 (公社)泉佐野青年会議所内 (H27.1.1~H27.12.31)	TEL:072-722-3950 FAX:072-723-0659
日本ボーイスカウト大阪連盟	事務局長 福田 雅之	〒543-0052 大阪市天王寺区大道5-4-6 大阪スカウト会館	TEL 06-6770-0043 FAX 06-6770-0044
日本野鳥の会大阪支部	副支部長 村濱 史郎	〒543-0011 大阪市天王寺区清水谷町6-16 NEXT21 1階	TEL 06-6766-0055 FAX 06-6766-0056
日本労働組合総連合会大阪府連合会	副事務局長 田中 宏和	〒540-0008 大阪市中央区大手前2-1-7 大阪赤十字会館5階	TEL 06-6949-1105 FAX 06-6944-0055
ライオンズクラブ国際協会335-B地区	環境保全委員長 西 和夫	〒541-0048 大阪市中央区瓦町4-4-8 瓦町4丁目ビル2階	TEL 06-6222-7331 FAX 06-6222-7336

## 【事業者団体 9】

団体名	委員名	所在地	連絡先
(公社)関西経済連合会	経済調査部長 徳田 龍裕	〒530-6691 大阪市北区中之島6-2-27 中之島センタービル30階	TEL 06-6441-0102 FAX 06-6441-0443
(一社)関西経済同友会	企画調査部 調査役 松尾 康弘	〒530-6691 大阪市北区中之島6-2-27 中之島センタービル28階	TEL 06-6441-1031 FAX 06-6441-1030
大阪商工会議所	経済産業部長 中野 亮一	〒540-0029 大阪市中央区本町橋2-8	TEL 06-6994-6300 FAX 06-6944-6249
(公社)大阪府工業協会	参事 小西 信行	〒541-0053 大阪市中央区本町4-2-5 本町セントラルビル6階	TEL 06-6251-1138 FAX 06-6245-9926
大阪府中小企業団体中央会	事務局長兼総務部長 横田 荘司	〒540-0029 大阪市中央区本町橋2-5 マイドームおおさか6階	TEL 06-6947-4370 FAX 06-6947-4374
近畿百貨店協会	事務局長 佐伯 匡由	〒545-8545 大阪市阿倍野区阿倍野筋1-1-43 あべのハルカス36階 (株)近鉄百貨店内	TEL 06-6655-7075 FAX 06-6655-7676
日本チェーンストア協会 関西支部	事務局長 布施 晃	〒641-8501 和歌山県和歌山市中島185-3 (株)オークワ内	TEL 073-488-4785 FAX 073-488-4805
大阪府小売市場総連合会	会長 森本 純二	〒540-0029 大阪市中央区本町橋2-5 マイドームおおさか6階	TEL 06-6947-4335 FAX 06-6947-4338
大阪府商店街連合会	事務局長 満菌 賢司	〒540-0029 大阪市中央区本町橋2-5 マイドームおおさか6階	TEL 06-6947-4334 FAX 06-6947-4338

## 【関連団体等 5】

団体名	委員名	所在地	連絡先
地球環境関西フォーラム	理事・事務総長 仲上 俊二	〒530-0005 大阪市北区中之島6-2-27 中之島センタービル23階	TEL 06-6444-0550 FAX 06-6444-0611
(公財)大阪みどりのトラスト 協会	常務理事兼事務局長 平田 通文	〒559-0034 大阪市住之江区南港北2-1-10 ATCビルITM棟11階西	TEL 06-6614-6688 FAX 06-6614-6689
大阪府地球温暖化防止活動推進 センター	事務局長 奥田 毅	〒541-0054 大阪市中央区南本町2-1-8 (一財)大阪府みどり公社内	TEL 06-6266-1271 FAX 06-6266-8665
大阪自動車環境対策推進会議	交通環境課長 福山 喜彦	〒559-8555 大阪市住之江区南港北1-14-16 大阪府咲洲庁舎21階 交通環境課内	TEL 06-6210-9586 FAX 06-6210-9575
大阪美しい景観づくり推進会議	事務局： 都市空間創造室 参事 田中 実	〒559-8555 大阪市住之江区南港北1-14-16 大阪府咲洲庁舎31階 都市空間創造室内	TEL 06-6210-9326 FAX 06-6210-9329

## 豊かな環境づくり大阪府民会議の活動経過

平成 6年11月10日	豊かな環境づくり大阪府民会議 設立総会 <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 府民会議の規約の制定、議長を選出等</li> <li>・ 環境基本条例第20条に規定する「地球環境保全行動指針」の策定に取り組むことを決定</li> </ul>
平成 7年 2月 3日	第2回豊かな環境づくり大阪府民会議 総会 <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 「地球環境保全行動指針（素案）」の検討</li> </ul>
平成 7年 5月23日	第3回豊かな環境づくり大阪府民会議 総会 <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 「地球環境保全行動指針」の最終案について</li> <li>・ 府民会議の行動計画の策定に取り組むことを決定</li> </ul>
平成 7年 6月 5日	“地球環境を守ろう”府民の集い <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 「地球環境保全行動指針」の策定</li> </ul>
平成 7年11月 6日	第4回豊かな環境づくり大阪府民会議 総会 <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 「豊かな環境づくり大阪行動計画（仮称）」骨子について検討</li> </ul>
平成 8年 3月 1日	府民会議情報誌“かんきょう夢ひろば”創刊
平成 8年 6月 5日	第5回豊かな環境づくり大阪府民会議 総会 <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 「豊かな環境づくり大阪行動計画」の策定</li> </ul>
平成 8年12月17日	平成8年度大阪府ローカルアジェンダ21推進活動奨励事業の実施
平成 9年 3月28日	第6回豊かな環境づくり大阪府民会議 総会 <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 「おおさか環境賞」実施要領を決定</li> <li>・ インターネットによる「かんきょう交流ルーム」の開設について決定</li> <li>・ 「平成9年度豊かな環境づくり大阪行動計画」構成案を決定</li> <li>・ 「豊かな環境づくり大阪府民の集い」の開催を決定</li> </ul>
平成 9年 6月 5日	「かんきょう交流ルーム」開設
平成 9年 6月24日	第7回豊かな環境づくり大阪府民会議 総会 <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 「おおさか環境賞」受賞者を決定</li> <li>・ 「平成9年度豊かな環境づくり大阪行動計画」策定</li> </ul>
平成 9年 7月24日	豊かな環境づくり大阪府民の集い <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 「おおさか環境賞」受賞者表彰式</li> <li>・ かんきょう講演会</li> </ul>
平成10年 1月20日	第8回豊かな環境づくり大阪府民会議 総会 <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 「平成10年度豊かな環境づくり大阪行動計画骨子」の決定</li> <li>・ 「豊かな環境づくり府民シンポジウム（仮称）」の開催の決定</li> <li>・ 行動の支援事業の拡充等の決定</li> <li>・ 府民会議の入会規定の決定と国際ロータリー第2660地区の入会の決定</li> </ul>
平成10年 5月 7日	第9回豊かな環境づくり大阪府民会議 総会 <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 「平成10年度豊かな環境づくり大阪行動計画」策定</li> <li>・ 「おおさか環境賞」受賞者を決定</li> </ul>
平成10年 6月 5日	豊かな環境づくり大阪府民の集い 第1部・「おおさか環境賞」受賞者表彰式 <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 環境にやさしい暮らしのアドバイス</li> <li>・ かんきょう講演会</li> </ul> 第2部・炸裂！和太鼓 <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 爆笑！えころじ～寄席</li> </ul>

平成11年 1月19日	<p>第10回豊かな環境づくり大阪府民会議 総会</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 「平成11年度豊かな環境づくり大阪行動計画骨子」の決定</li> <li>・ 「豊かな環境づくり大阪府民の集い」の開催の決定</li> <li>・ 「グリーン購入啓発キャンペーン（仮称）」の実施の決定</li> <li>・ 行動の支援事業の拡充等の決定</li> </ul>
平成11年 6月 7日	<p>第11回豊かな環境づくり大阪府民会議 総会</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 「平成11年度豊かな環境づくり大阪行動計画」策定</li> <li>・ 「おおさか環境賞」受賞者を決定</li> </ul>
平成11年 6月24日	<p>豊かな環境づくり大阪府民の集い</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 「おおさか環境賞」表彰式</li> <li>・ グリーンコンシューマー入門講座 ～買物からライフスタイルを変える～</li> <li>・ 環境にやさしい商品の展示会</li> </ul>
平成11年10月	グリーン購入キャンペーンの実施
平成12年 1月31日	<p>第12回豊かな環境づくり大阪府民会議 総会</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 「平成12年度豊かな環境づくり大阪行動計画骨子」の決定</li> <li>・ 「グリーン購入キャンペーン（仮称）」の実施の決定</li> <li>・ 「グリーンコンシューマーガイドブック（仮称）作成事業」の実施の決定</li> </ul>
平成12年 6月 8日	<p>第13回豊かな環境づくり大阪府民会議 総会</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 「平成12年度豊かな環境づくり大阪行動計画」策定</li> <li>・ 「おおさか環境賞」受賞者を決定</li> <li>・ ライオンズクラブ国際協会 335 - B 地区の入会の決定</li> </ul>
平成12年 6月24日	<p>グリーン購入が社会を変える</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 講演「食から環境を考えるーリサイクル料理ー」</li> <li>・ 「おおさか環境賞」表彰式</li> <li>・ シンポジウム「グリーン購入が社会を変える」</li> </ul>
平成12年10月	グリーン購入キャンペーンの実施
平成13年 1月30日	<p>第14回豊かな環境づくり大阪府民会議 総会</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 「平成13年度豊かな環境づくり大阪行動計画骨子」の決定</li> <li>・ 「グリーン購入キャンペーン（仮称）」の実施の決定</li> <li>・ 「環境を考える府民のつどい（仮称）」開催の決定</li> </ul>
平成13年 5月29日	<p>第15回豊かな環境づくり大阪府民会議 総会</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 「平成13年度豊かな環境づくり大阪行動計画」策定</li> <li>・ 平成13年度府民会議事業の決定</li> <li>・ 「おおさか環境賞」受賞者を決定</li> </ul>
平成13年 6月 6日	<p>環境を考える府民のつどい</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 「おおさか環境賞」表彰式</li> <li>・ 大阪府環境保全基金寄付者感謝状贈呈式</li> <li>・ 講演「感じとることの大切さ」</li> </ul>
平成13年10月	グリーン購入／NO!!包装キャンペーンの実施
平成14年 1月18日	<p>第16回豊かな環境づくり大阪府民会議 総会</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 「平成14年度豊かな環境づくり大阪行動計画骨子」の決定</li> <li>・ 「グリーン購入／NO!!包装キャンペーン（仮称）」の実施の決定</li> <li>・ 「環境を考える府民のつどい（仮称）」開催の決定</li> </ul>
平成14年 5月28日	<p>第17回豊かな環境づくり大阪府民会議 総会</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 「平成14年度豊かな環境づくり大阪行動計画」策定</li> <li>・ 平成14年度府民会議事業の決定</li> <li>・ 「おおさか環境賞」受賞者を決定</li> </ul>
平成14年 6月11日	<p>「環境を考える府民のつどい」</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 「おおさか環境賞」表彰式・受賞者活動事例発表</li> <li>・ 大阪府環境保全基金寄付者感謝状贈呈式</li> <li>・ 講演「大阪の水、世界の水ー第3回世界水フォーラムの役割」</li> </ul>

平成14年10月	グリーン購入／NO!!包装キャンペーンの実施
平成15年 1月21日	第18回豊かな環境づくり大阪府民会議 総会 <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 「平成15年度豊かな環境づくり大阪行動計画骨子」の決定</li> <li>・ 「グリーン購入／NO!!包装キャンペーン（仮称）」の実施の決定</li> <li>・ 「環境を考える府民のつどい（仮称）」開催の決定 等</li> </ul>
平成15年 5月19日	第19回豊かな環境づくり大阪府民会議 総会 <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 「平成15年度豊かな環境づくり大阪行動計画」策定</li> <li>・ 平成15年度府民会議事業の決定</li> <li>・ 「おおさか環境賞」受賞者を決定</li> </ul>
平成15年 6月15日	環境を考える府民のつどい ～おおさか環境賞表彰式・グリーン購入シンポジウム～ <ul style="list-style-type: none"> <li>・ おおさか環境賞表彰式、受賞者活動事例発表</li> <li>・ 大阪府環境保全基金寄附者感謝状贈呈式</li> <li>・ グリーン購入シンポジウム  基調講演「私のグリーン購入」  グリーン購入について（解説）  パネルディスカッション「グリーン購入が創る持続可能な社会」等</li> <li>・ 環境配慮型商品等展示会</li> </ul>
平成15年10月	グリーン購入／NO!!包装キャンペーンの実施
平成16年 2月10日	第20回豊かな環境づくり大阪府民会議 総会 <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 「平成16年度豊かな環境づくり大阪行動計画骨子」の決定</li> <li>・ 「グリーン購入／NO!!包装キャンペーン（仮称）」の実施の決定</li> <li>・ 「環境を考える府民のつどい（仮称）」開催の決定 等</li> </ul>
平成16年 6月 1日	第21回豊かな環境づくり大阪府民会議 総会 <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 「平成16年度豊かな環境づくり大阪行動計画」策定</li> <li>・ 平成16年度府民会議事業の決定</li> <li>・ 「おおさか環境賞」受賞者を決定</li> </ul>
平成16年 6月25日	環境を考える府民のつどい <ul style="list-style-type: none"> <li>・ おおさか環境賞表彰式、受賞者活動事例発表</li> <li>・ 大阪府環境保全基金寄附者感謝状贈呈式</li> <li>・ 講演「環境にやさしいライフスタイルとふるしきの活用」</li> </ul>
平成16年10月	グリーン購入／NO!!包装キャンペーンの実施
平成17年 1月31日	第22回豊かな環境づくり大阪府民会議 総会 <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 「平成17年度豊かな環境づくり大阪行動計画骨子」の決定</li> <li>・ 「グリーン購入／NO!!包装キャンペーン（仮称）」の実施の決定</li> <li>・ 「環境を考える府民のつどい（仮称）」開催の決定 等</li> </ul>
平成17年 5月31日	第23回豊かな環境づくり大阪府民会議 総会 <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 「平成17年度豊かな環境づくり大阪行動計画」策定</li> <li>・ 平成17年度府民会議事業の決定</li> <li>・ 「おおさか環境賞実施要領」改正の決定 等</li> </ul>
平成17年 6月18日	環境を考える府民のつどい <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 講演「わたしのスローライフ」</li> <li>・ 取組報告「企業の立場で進めるエコライフについて」他、意見交換等</li> </ul>
平成17年 6月20日	環境を考える府民のつどい <ul style="list-style-type: none"> <li>・ おおさか環境賞表彰式、受賞者活動事例発表</li> <li>・ 大阪府環境保全基金寄附者感謝状贈呈式</li> <li>・ 講演「私と自転車と地球のいい関係」、演奏会</li> </ul>
平成17年10月	環境にやさしい買い物キャンペーン グリーン購入／NO!!包装キャンペーンの実施
平成18年 2月 8日	第24回豊かな環境づくり大阪府民会議 総会 <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 「平成18年度豊かな環境づくり大阪行動計画骨子」の決定</li> <li>・ 平成18年度府民会議事業（案）について</li> </ul>
平成18年 6月 6日	第25回豊かな環境づくり大阪府民会議 総会 <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 「平成18年度豊かな環境づくり大阪行動計画」策定</li> <li>・ 平成18年度府民会議事業の決定</li> </ul>

平成18年 6月27日	環境を考える府民のつどい <ul style="list-style-type: none"> <li>・ おおさか環境賞表彰式、受賞者活動事例発表</li> <li>・ 大阪府環境保全基金寄附者感謝状贈呈式</li> <li>・ 環境保全活動の取組み報告</li> <li>・ 講演「企業の環境問題への取組みに貢献するエコファンドについて」</li> <li>・ 講演「地域に密着した環境銀行の取組み」</li> </ul>
平成18年10月	環境にやさしい買い物キャンペーン グリーン購入／NO!!包装キャンペーンの実施
平成19年 2月 6日	第26回豊かな環境づくり大阪府民会議 総会 <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 「平成19年度豊かな環境づくり大阪行動計画骨子」の決定</li> <li>・ 平成19年度府民会議事業（案）について</li> </ul>
平成19年 6月 7日	第27回豊かな環境づくり大阪府民会議 総会 <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 「平成19年度豊かな環境づくり大阪行動計画」策定</li> <li>・ 平成19年度府民会議事業の決定</li> </ul>
平成19年 6月26日	環境を考える府民のつどい <ul style="list-style-type: none"> <li>・ おおさか環境賞表彰式、受賞者活動事例発表</li> <li>・ 大阪府環境保全基金寄附者感謝状贈呈式</li> <li>・ 環境活動提案公募型補助金事業、環境教育推進モデル地域事業の取組み報告</li> <li>・ 講演「NPO等におけるマネジメントについて」</li> </ul>
平成19年10月	環境にやさしい買い物キャンペーン ～グリーン購入／NO!!包装キャンペーン～の実施
平成20年 1月24日	第28回豊かな環境づくり大阪府民会議 総会 <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 「平成20年度豊かな環境づくり大阪行動計画骨子」の決定</li> <li>・ 平成20年度府民会議事業（案）について</li> </ul>
平成20年 9月 8日	第29回豊かな環境づくり大阪府民会議 総会 <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 「平成20年度豊かな環境づくり大阪行動計画」策定</li> <li>・ 平成20年度府民会議事業の決定</li> </ul>
平成20年10月	環境にやさしい買い物キャンペーンの実施
平成21年 2月10日	第30回豊かな環境づくり大阪府民会議 総会 <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 豊かな環境づくり大阪府民会議の運営（案）について</li> <li>・ 「平成21年度豊かな環境づくり大阪行動計画骨子」の決定</li> <li>・ 平成21年度府民会議事業（案）について</li> </ul>
平成21年 6月17日	第31回豊かな環境づくり大阪府民会議 総会 <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 「平成21年度豊かな環境づくり大阪行動計画」策定</li> <li>・ 平成21年度府民会議事業の決定</li> </ul>
平成21年10月	環境にやさしい買い物キャンペーンの実施
平成22年 1月20日	グリーン購入セミナー in 大阪 の開催 <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 基調講演「“グリーン購入”に人類の未来がある」</li> <li>・ 事例発表 阪急阪神ホールディングス(株) 他</li> </ul>
平成22年 2月 8日	第32回豊かな環境づくり大阪府民会議 総会 <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 「平成22年度豊かな環境づくり大阪行動計画骨子」の決定</li> <li>・ 平成22年度府民会議事業の決定</li> </ul>
平成22年 6月29日	第33回豊かな環境づくり大阪府民会議 総会 <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 府民会議規約の一部改正</li> <li>・ 「平成22年度豊かな環境づくり大阪行動計画」策定</li> <li>・ 「環境壁紙コレクション事業」について</li> </ul>
平成22年10月	環境にやさしい買い物キャンペーンの実施
平成22年12月14日	グリーン購入セミナー in 大阪 の開催 <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 基調講演「信念に基づいてグリーン購入し、低炭素革命を進めよう！」</li> <li>・ 事例発表 JAたじま（たじま農業協同組合） 他</li> </ul>

平成23年 2月 8日	<p>第34回豊かな環境づくり大阪府民会議 総会</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 「環境壁紙コレクション」表彰作品の選定結果について</li> <li>・ 「平成23年度豊かな環境づくり大阪行動計画骨子」の決定</li> <li>・ 平成23年度府民会議事業の決定</li> </ul>
平成23年 6月28日	<p>第35回豊かな環境づくり大阪府民会議 総会</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 節電の取組みについて</li> <li>・ 「平成23年度豊かな環境づくり大阪行動計画」策定</li> <li>・ 「おおさか節電チャレンジSHOP」事業について</li> <li>・ “かんきょう交流Room” 掲示板「エコ交流ボックス」の閉鎖について</li> </ul>
平成23年10月	環境にやさしい買い物キャンペーンの実施
平成23年11月30日	<p>グリーン購入セミナー in 大阪 の開催</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 基調講演「3. 11後のグリーン購入」</li> <li>・ 事例発表 佐賀市、帝人ファイバー(株)、(株)タカラトミー</li> </ul>
平成24年 2月 9日	<p>第36回豊かな環境づくり大阪府民会議 総会</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 「環境壁紙コレクション」表彰作品の決定</li> <li>・ 「平成24年度豊かな環境づくり大阪行動計画骨子」の決定</li> <li>・ 平成24年度府民会議事業の決定</li> <li>・ 府民会議の組織変更及び府民会議規約等の一部改正</li> </ul>
平成24年 6月28日	<p>第37回豊かな環境づくり大阪府民会議 総会</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 「平成24年度豊かな環境づくり大阪行動計画」策定</li> <li>・ 大阪府における環境施策の取組状況に係る意見交換</li> <li>・ 今夏の節電対策について</li> </ul>
平成24年10月	環境にやさしい買い物キャンペーンの実施
平成25年 2月13日	<p>第38回豊かな環境づくり大阪府民会議 総会</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 「環境壁紙コレクション」表彰作品の決定</li> <li>・ 「平成25年度豊かな環境づくり大阪行動計画骨子」の決定</li> <li>・ 平成25年度府民会議事業の決定</li> <li>・ 府民会議規約等の一部改正</li> <li>・ 今後の府民会議について意見交換</li> </ul>
平成25年 6月27日	<p>第39回豊かな環境づくり大阪府民会議 総会</p> <p>&lt;第1部&gt;</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 「発掘！おおさかエコ事典」事業実施の決定</li> <li>・ 「豊かな環境づくり大阪行動計画」策定</li> <li>・ 府民会議規約等の一部改正</li> <li>・ 大阪府における環境施策の取組状況に係る意見交換</li> </ul> <p>&lt;第2部&gt;</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 講演「浪速、大坂、大阪の自然環境と生物多様性」</li> <li>・ 事業紹介・活動報告 パナソニック株式会社エコソリューションズ社 (平成24年度「おおさか環境賞」大賞受賞団体) NPO法人中小企業サポート隊 (平成24年度「大阪府環境保全活動補助金」交付団体) 他</li> </ul>
平成25年10月	環境にやさしい買い物キャンペーンの実施
平成26年 2月14日	<p>第40回豊かな環境づくり大阪府民会議 総会</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 総会のカーボン・オフセットについて</li> <li>・ 「環境壁紙コレクション」表彰作品の決定</li> <li>・ 「平成26年度豊かな環境づくり大阪行動計画骨子」の決定</li> <li>・ 平成26年度府民会議事業の決定</li> <li>・ 次回総会の二部制実施を決定</li> </ul>
平成26年 6月 7日	知ろう！学ぼう！大阪南港エコフェスタの開催（大阪府、大阪市等とともに主催）
平成26年 6月16日	<p>第41回豊かな環境づくり大阪府民会議 総会</p> <p>&lt;第1部&gt;</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 「発掘！おおさかエコ事典」事業（大学編）及び「環境壁紙コレクション」事業の今後の対応について検討</li> <li>・ 「豊かな環境づくり大阪行動計画」策定</li> <li>・ 大阪府における環境施策の取組状況に係る意見交換</li> </ul>

	<p>&lt;第2部&gt;</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・講演「市場を動かすあなたの選択！グリーン購入で築く明日の豊かな商都大阪」</li> <li>・事業紹介・活動報告</li> </ul> <p>地球環境関西フォーラム 日本野鳥の会大阪支部 他</p>
平成26年10月	環境にやさしい買い物キャンペーンの実施
平成27年 1月30日	<p>第42回豊かな環境づくり大阪府民会議 総会</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・「環境壁紙コレクション」表彰作品の決定</li> <li>・「平成27年度豊かな環境づくり大阪行動計画骨子」の決定</li> <li>・平成27年度府民会議事業、次回総会（二部制）の方向性の決定</li> </ul>
平成27年 6月13日	<p>知ろう！学ぼう！大阪南港エコフェスタ2015の開催 （大阪府、大阪市等とともに主催）</p>



豊かな環境づくり大阪府民会議のホームページ

## かんきょう交流Room

<http://www.pref.osaka.lg.jp/chikyukankyo/room/index.html>

かんきょう交流ルーム

検索

- “かんきょう交流Room”は、豊かな環境づくり大阪府民会議のホームページです。
- 「豊かな環境づくり大阪行動計画」のページでは、本冊子の内容に加えて、府民会議の各構成団体が実施している実践活動について個別具体的に紹介しています。
- また、府民会議が主体となって実施している事業についてもその内容を詳しく紹介しているほか、府民会議の電子広報誌「かんきょう夢ひろば」も掲載しています。
- 是非、“かんきょう交流Room”をご覧ください、本冊子と併せてご活用ください。



豊かな環境づくり大阪府民会議 平成 27 年 6 月

事務局：大阪府環境農林水産部エネルギー政策課

〒559-8555 大阪市住之江区南港北 1-14-16 大阪府咲洲庁舎 22 階

TEL 06(6210)9549 FAX 06(6210)9259